RICOH

FUPLOTINE FUPLOTINE

使用説明書



基礎知識	1
準備	2
撮影	3
再生	4
設定	5
付録	6

カメラの正しい操作のために、ご使用前に 必ずこの使用説明書をご覧ください。



同梱品を確認しましょう



ホットシューカバー Fĸ (カメラ装着)



ボディマウントカバー (カメラ装着)



バッテリー充電器 D-BC90P



使用説明書(本書)



Constanting of the second seco



アイカップFs (カメラ装着)



三角環・キズ防止カバー (カメラ装着)



バッテリーグリップ接点カバー (カメラ装着)



MEファインダーキャップ シンクロソケット2Pキャップ (カメラ装着)



充電式リチウムイオン バッテリー D-LI90P



ソフトウェア(CD-ROM) S-SW160

ACコード D-CO2J

保証書

ストラップ **O-ST132**

使用できるレンズ

本機で使用できるレンズは、DA/DAL/DFA/FAJまたは絞りA(オート)位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリーを使用するときは、本書のp.88を参照してください。

1	K-3 IIの基礎知識
2	準備 しましょう
3	いろいろな写真を 撮影 してみましょう
4	いろいろな 再生 と編集
5	設定 を変更する
6	付録

本書の使い方

K-3 IIの	基礎知識	p.7
— K-3 IIの全 まずここを	体像を紹介しています。 を読んでK-3 IIを知ろう!	
□ 各部の名種	你と機能	p.7
□ 機能の設え	定方法	p.18
	一覧	p.20

9

準備しましょう	.27
	乍を
🗌 ストラップの取り付けp	.27
🗌 レンズの取り付けp	.27
🗌 バッテリーのセットp	.28
🗌 メモリーカードのセットp	.30
🗌 初期設定p	.31
🗌 撮影のキホンp	.33
□ 画像の確認p	.36

いろいろな写真を撮影してみましょう ...p.37 カメラが正しく動作することが確認できたら、 たくさん写真を撮ってみよう!

4

🗌 再生モードパレットの設定項目	p.66
🗌 再生方法を変更する	p.67
□ パソコンと接続する	p.71
□ 画像を加工・編集する	p.72

5	
設定を変更する	p.78
その他の設定変更を掲載しています。	
🗌 カメラの設定	p.78
□ 画像管理に関する設定	p.82

6
付録
資料を掲載しています。
□ 特殊機能の組み合わせ制限
□ 各種レンズ使用時の機能p.88
□ 外付けフラッシュ利用時の機能
□ 困ったときはp.92
□ 主な仕様p.96
□ 索引p.102
〇 ご注意くださいp.106
🗌 取り扱い上の注意p.107
□ アフターサービスについてp.111

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製 品と異なる場合があります。 本書

の使い方

目次

本書の使い方	2
K-3 II の基礎知識	7
各部の名称と機能	7
ボタン・ダイヤル・レバー	8
画像モニターの表示	10
ファインダー	16
表示バネル	
	17
機能の設定方法	18
ダイレクトキーで設定する	18
コントロールバネルで設定する	
メニューで設定する	19
メニュー一覧	20
撮影メニュー	20
<u> </u>	
冉生メニュー 詳細記官メニュ	
詳細設定メニュー カスタムメニュー	
準備しましょう	27
ストラップの取り付け	27
レンズの取り付け	27
バッテリーのセット	
バッテリーを充電する	28
バッテリーを入れる	29
ACアダプターを使用する	30
メモリーカードのセット	
初期設定	
電源を入れる	31
言語を設定する	31
日時を設定する	32
メモリーカードをフォーマットする	33

撮影のキホン	
ファインダーを使って撮影する	33
ライブビューで撮影	35
画像の確認	

いろいろな写真を撮影してみましょう....37

記録方法を設定する	
メモリーカードの使用方法を設定する	
静止画の記録設定	
動画の記録設定	
静止画を撮影する	
露出補正	
動画を撮影する	
動画の再生	
	41
ISO感度	
測光方式	
フラッシュを使う	
フラッシュを接続する	
フラッシュモードを設定する	
フォーカスモードを設定する	
ファインダー撮影のAFモード	
ライブビュー撮影のAFモード	
AF位置を微調整する	
被写界深度を確認する(プレビュー)	
ドライブモードを設定する	
連続撮影	
セルフタイマー	
リモコン	50
露出ブラケット	50
ミラーアップ撮影	51
多重露出	
インターバル撮影	52
インターバル合成	53

目次

インターバル動画	53
ホワイトバランスを設定する	54
マニュアルでホワイトバランスを調整する	55
色温度でホワイトバランスを調整する	56
仕上がりイメージを決めて撮影する	56
カスタムイメージ	56
デジタルフィルター	58
補正して撮影する	59
明るさを補正する	59
レンズ特性を補正する	60
高精細画像を出力する	60
ローパスフィルター効果を利用する	61
構図を補正する	61
GPSを利用する	62
GPSの動作を設定する	63
キャリブレーションを実行する	63
移動経路を記録する(GPSログ)	64
天体を撮影する(アストロトレーサー)	65

いろいろな再生と編集......66

再生モードパレットの設定項目	66
再生方法を変更する	67
複数画像を表示する	67
フォルダーごとに表示する	68
撮影日ごとに表示する	68
連続して再生する(スライドショウ)	69
画像を回転して表示する	69
AV機器と接続する	70
パソコンと接続する	71
画像を加工・編集する	72
画像をコピーする	72
画像のサイズを変更する	72
色モアレを補正する	73
デジタルフィルターで加工する	73
複数画像を貼り付ける(インデックス)	75
動画を編集する	75

設定を変更する	78
カメラの設定	
ボタン/ダイヤルをカスタマイズする	
よく使う設定値を登録する	80
目的地の日時を表示する	
カメラに保存する設定を選択する	
画像管理に関する設定	82
画像を消去できないようにする(プロテクト).	
フォルダー/ファイルの設定	
著作権情報の設定	85
通信カードを利用する	
付録	87
各種レンズ使用時の機能	
絞りリングの使用を許可する	
レンズ焦点距離を入力する	
外付けフラッシュ利用時の機能	91
困ったときは	92
センサーのクリーニング	
エラーメッセージ	
主な仕様	96
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	101
委 引	102
2/S 2	
で注意ください	106
で注意ください 取り扱い上の注意	106 107

目次

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほ かは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。な お、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的 があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注 意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作 権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただ けませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、 強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅した り、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こ す場合があります。
- ・ 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装 置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、こ の装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用され ると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書 に従って、正しい取り扱いをしてください。

各部の名称と機能



ボタン・ダイヤル・レバー



- ③ シャッターボタン 画像を撮影します。(p.34) 再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ⑤ 前電子ダイヤル (公) 露出などの設定値を変更します。(p.38) メニューが表示されているときは、メニューの種類を切り 替えます。(p.19) 再生モード時は、画像を切り替えます。
- ・ レンズ取り外しボタン
 レンズを取り外すときに押します。(p.27)
- ⑦ GPSボタン(GPS)
 GPS機能のオン/オフを切り替えます。(p.62)
- 8 モードダイヤルロックボタン
 モードダイヤルを回すときに押します。(p.34)
- モードダイヤル 露出モードを切り替えます。(p.34)
- ・ モードダイヤルロック解除レバー
 モードダイヤルロックボタンを押さずにモードダイヤルを 操作したいときに、ロックを解除できます。(p.35)
- RAW/Fxボタン(登) 機能を割り当てて使用します。(p.78)
- ③ フォーカスモード切替レバー フォーカスモードを切り替えます。(p.44)

(26)

- ④ ライブビュー/RECボタン(Ⅲ/⑥)
 ライブビューを表示します。(p.35)
 モードのときは、撮影の開始/終了をします。(p.40)
- ⑤ 測光方式/消去ボタン(☎/面) 測光方式を変更するときに押します。(p.42) 再生モード時は、画像を消去します。(p.36)

- ISOボタン(ISO) ISO感度を変更するときに押します。(p.41)

(17)

1 基礎知識

- (6) 再生ボタン(回) 再生モードに切り替えます。(p.36)もう一度押すと撮影 モードに切り替わります。
- ⑦ INFOボタン(MPD)
 画像モニターの表示を切り替えます。(p.10、p.14)
- (18)後電子ダイヤル(マラマ) 露出などの設定値を変更します。(p.38) メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。 (p.19)

コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り 替えます。(p.18)

再生モード時は、画像を拡大/複数画像表示します。(p.36、 p.67)

19 AFボタン(🗗)

シャッターボタン半押しの代わりにピントを合わせること ができます。(p.44)

20 AEロックボタン(AED)

撮影前の露出値を記憶します。 再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイ ルを追加保存できます。(p.36)

- グリーンボタン(〇)
 設定中の値をリセットします。
 ISO感度設定中は、ISO AUTOに変更します。
- 2 静止画/動画切替レバー
 ▲ (静止画) モードと、
 ▲ (静止画) モードと、
 ▲ (動画) モードを切り替えます。
 (p.33)
- ② OKボタン(③) メニュー/コントロールパネルが表示されているときに、 選択した項目を決定します。
- 29 測距点移動/カードスロット切替ボタン(図/①2) 測距点を移動できる状態にします。(p.45) 再生モード時は、画像を再生するメモリーカードスロット を切り替えます。(p.36)
- ② 十字キー(▲▼◀▶) ドライブモード/フラッシュモード/ホワイトバランス/ カスタムイメージの設定画面を呼び出します。(p.18) メニュー/コントロールパネルが表示されているときは、 カーソルの位置や項目を変更します。

再生モードの1画像表示で▼を押すと、再生モードパレットを表示します。(p.66) 拡大表示中や測距点設定時などの領域を設定しているときは、2つのキーを同時に押すと、斜めに移動ができます。

 ⑧ MENUボタン(四) メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の 画面に戻ります。(p.19)

十字キーについて

本書では、十字キーを右のように表記 します。



画像モニターの表示

撮影時

1 基 礎 知 識

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画 像モニターを見ながら撮影する方法があります。 ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータスス クリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。

(p.33) ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライ ブビュー画像を表示しながら撮影します。(p.35)

ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されて いて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいま す。撮影待機状態で 示され、設定が変更できます。(p.18) コントロールパネル表 示中に № を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できま す。(p.13)



撮影情報表示選択

ステータススクリーン

	P ************************************	1 8 1 161 161	2 3 4 5 6 7 9 11 12 10 8 13 10 8 13 21 22 23 24 7 18 19 25 26 26
1	露出モード (p.38)	15	フォーカスモード
2	AEDック		(p.44)
3	デジタルフィルター	16	メモリーカードスロット
	(p.58) /HDR撮影	17	記録形式(p.37)
	(p.59) / Real	18	撮影可能枚数
	Resolution (p.60)	19	フラッシュ光量補正
4	無線LAN通信状態		(p.43)
	(p.86)	20	ホワイトバランス微調整
5	GPS測位状態(p.62)		(p.55)
6	Shake Reduction /	21	ドライブモード(p.48)
	自動水平補正	22	ホワイトバランス
7	バッテリー残量		(p.54)
8	電子ダイヤル操作ガイド	23	測距点(p.45)
9	シャッター速度	24	カスタムイメージ
10	絞り値		(p.56)
11	露出補正(p.39)/	25	フラッシュモード
40	露出フラケット(p.50)	~~	(p.43)
12	露出八一	26	深作カイト、多重露出/
13	ISO感度 (p.41)		インターハル撮影/イン
14	測尤力式(p.42)		ターハル台成撮影回数

ライブビュー



(O)(())))

ØXE

 ●3 メニュー「ライブビュー」で、ライブビュー中に表示す る情報の設定ができます。(p.21)

1 基 礎 知 識

コントロールパネル

DE-K



	1 2		000	8 4 8 4
	5		6	7
8	9	10	11	12
13	14	15	16	17
18	19	20	21	22
27 28				

10 11 12

27

20 21

28

8

13 14 15 16 17

18 19

22

ライブビュー撮影時

感度AUTO設定 調整範囲			•∎ E	12345 12345
150	100-32	00	(jun	Sigro
OFF	HDR OFF	OFF	ISONR AUTO	NR Auto
OF/	07/5	TON	(@)	
→B	JPEG	LA		OFF
2015/05/05 10:30 AM				

お モード



- 機能名称 1
- 2 設定
- 3 メモリーカードスロット
- 4 撮影可能枚数/記録可能 15 AF補助投光 (p.44) 時間
- 感度AUTO設定(p.41) 5
- 6 ハイライト補正 (p.59)
- 7 シャドー補正 (p.59)
- **8** デジタルフィルター (p.58)
- 9 HDR撮影 (p.59)
- **10** Real Resolution (p.60)
- 11 高感度NR (p.42)
- 12 長秒時NR (p.39)

	1 2		3	4 4
23	6	7	8	9
16	17	15	24	25
18 20 26			21	
	27		28	

- 13 ディストーション補正 (p.60)
- 14 周辺光量補正 (p.60)
- **16** AFモード (p.44) /コ ントラストAF (p.46)
- 17 測距点 (p.45) /フォー カスアシスト (p.46)
- 18 カードスロット設定 (p.37)
- 19 記録形式 (p.37)
- **20** JPEG記録サイズ・画質 (p.37) /動画記録サイ ズ (p.37)

- 21 Shake Reduction / Movie SR
- **22** ローパスセレクター (p.61) 23 露出設定 (p.40)
- 24 録音レベル (p.40) 25 再牛 音量 26 フレームレート (p.37)
- **27** 現在の日時
- 28 目的地 (p.81)

ØXモ

- カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- コントロールパネルは何も操作しないと、1分で撮影待機状 態に戻ります。
- ◆1メニュー「画面表示」の「配色」で、ステータススク リーン/コントロールパネル/メニューカーソルの配色が 変更できます。(p.24)

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に MEO を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。 ◀▶ で選択して @ を押します。

ファインダー撮影時

ステータス スクリーン	ファインダー撮影時の設定を表示(p.10)		
電子水準器	カメラの傾きを表 示 下側に左右方向、 右側に上下方向の 傾きを表示。傾き がグラフの表示範 囲を超えたときは、 赤で表示		
画像モニター オフ	画像モニターを非表示		
電子コンパス	GPSをオンにし、 現在地の緯度・経 度・高度とカメラ の向き(方位)、協 定世界時を表示		

ライブビュー撮影時

標準情報表示	画像とライブビュー撮影時の設定を表示 (p.11)
情報表示なし	露出モードやドライブモードなど、一部のア イコンを非表示

カメラを縦に構えたとき カメラを縦位置に構えると、ステータス スクリーンとコントロールパネルの表示 も縦になります。縦画面を表示させたく ない場合は、▲1メニュー「画面表示」の 「自動回転」をオフに設定します。(p.24)



再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示 されます。

(MD)を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。 ◀▶ で 選択して ◎ を押します。





標準情報表示	画像 · 記録形式 · 露出値 · 操作ガイドを 表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示(p.14)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示(p.15) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム 表示	画像とRGBヒストグラムを表示(p.15) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

◎メモ

電源を入れ直して再生モードにすると、「再生情報表示選択」
 で選択した画面が表示されます。▲4メニュー「モードメモリ」の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標準情報表示」から表示されます。(p.82)

詳細情報表示

静止画





動画

	-0001
<u>්ති</u> 10'10"	915 • ±0
1/125 F8.0 🕷 🐜 👁	O±0
1501600 본 0.0 🞯	_©±0
5000K @BG1A1 55.0mm	0±0
Novie[201810] 30p	C+±0
2015/05/05 10:30 AM	⊕±0

1		4	5 6	7	8
	Ş	9	- 39	Э	36
13	14	15	40	41	
16		17	19		
21	22	2		24	37
25 26	42	29 30			
38					

2ページ目



P	ີ 🖻 🖻 🖻 100-0001
	🛆 0m 🛛 🕐 123°
2015/05/05 2015/05/05 2015/05/05	
ABCDEFGHIJK	LMNOPQRSTUVWXYZ
ABCDEFGHIJK	LMNOPQRSTUVWXYZ

2 3	5 6 7	8
	43	44
47	45	
	46	
49		
50 48		

- 撮影画像
- 2 回転情報 (p.69)
- 3 露出モード (p.38)
- 4 デジタルフィルター (p.58)
- 5 無線LAN転送済み (p.86)
- 6 プロテクト (p.82)
- 7 再生メモリーカードス ロット
- 8 フォルダー No.-ファイ ルNo. (p.83)
- 9 ドライブモード (p.48)

- 10 フラッシュモード (p.43)
- 11 フラッシュ光量補正 (p.43)
- 12 色モアレ補正 (p.73)
- 13 シャッター速度
- 14 絞り値
- **15** Shake Reduction / 自動 水平補正 / Movie SR
- 16 ISO感度 (p.41)
- 17 露出補正 (p.39)
- 18 フォーカスモード (p.44)

1

19	測光方式(p.42)	32	周辺光量補正(p.60)
20	測距点(p.45)	33	倍率色収差補正(p.60)
21	ホワイトバランス	34	回折補正(p.60)
	(p.54)	35	フリンジ補正(p.77)
22	ホワイトバランス微調整	36	画像仕上(p.56)
	(p.55)	37	カスタムイメージパラ
23	HDR撮影(p.59)/		メーター
	Real Resolution (p.60)	38	撮影日時
	/ローパスセレクター	39	記録時間
	(p.61)	40	録音レベル
24	レンズ焦点距離	41	音声
25	記録形式(p.37)	42	フレームレート (p.37)
26	JPEG記録サイズ	43	高度
	(p.37)/動画記録サイ	44	方位
	ズ (p.37)	45	緯度
27	JPEG画質(p.37)	46	経度
28	色空間(p.26)	47	協定世界時
29	ハイライト補正(p.59)	48	情報改ざん警告
30	シャドー補正(p.59)	49	撮影者名(p.85)
31	ディストーション補正	50	著作権者名(p.85)
	(p.60)		

ヒストグラム表示

▲▼ で輝度ヒストグラムとRGBヒストグラムが切り替えられ ます。

1 2 3 4 5 ALLINNE 6 A:181: 17 ż Ŕ ģ 10 11 34 6 2 5 <u>ല 100-000</u>1 MERAW?'I 12 13 14 1 ¥ +0.3 JPE6 1/2000 F2.8 IS0 200 8 9 10 ż 11 RGBヒストグラム

輝度ヒストグラム

- ヒストグラム(輝度)
 RGBヒストグラム/輝度ヒストグラム切り替え
 プロテクト
 再生メモリーカードス
 - ロット
- 5 フォルダー No.-ファイ ルNo.
- 6 バッファ RAW保存可能
- 7 記録形式
- 8 シャッター速度
- 9 絞り値
- 10 ISO感度
- **11** 露出補正
- 12 ヒストグラム (R)
- 13 ヒストグラム (G)
- 14 ヒストグラム (B)

基礎知識

1

ファインダー

ファインダー撮影時は、ファインダー内に以下の情報が表示さ れます。



◎メモ

- ファインダー内の表示は、シャッターボタン半押し時と、測光作動時間(初期設定:10秒)の間に表示されます。
- シャッターボタンを半押しにすると、オートフォーカスに使われた測距点が赤く点灯(スーパーインポーズ)します。C2メニュー「14.スーパーインポーズ」でオフにできます。
- ファインダー内の見え方は、視度 調整ダイヤルで調節できます。 ファインダー内のAFフレームが はっきり見えるように調整しま す。



表示パネル



- 1 シャッター速度
- 2 多重露出 (p.52)
- 3 絞り値
- **4** ミラーアップ (p.51)
- 5 測光方式 (p.42)
- 6 測距点 (p.45)
- 7 フラッシュ光量補正 (p.43)
- 8 露出バー/電子水準器 (p.17)
- 9 露出補正 (p.39) /露出 ブラケット (p.50)
- 10 HDR撮影 (p.59)
- 11 無線LAN通信 (p.86)

◎メモ

C3メニュー「21. 表示パネルの照明」で、表示パネルの照明の設定ができます。(p.26)また、 (愛)を押して照明のオン/オフが切り替えられるように設定することもできます。(p.78)

567

ISO.

16 17 18

12 バッテリー残量

13 GPSオン (p.62)

補正 (p.39)

15 フラッシュモード

18 記録形式 (p.37)

(p.43)

(p.93)

₽88<u>8</u>0

→F88 🗒

04

SLOW

15

3

8

4+ 🖾 HDB-

19

O GPS WI-FI

14 ISO感度 (p.41) / 露出

16 ドライブモード (p.48)17 メモリーカードスロット

19 撮影可能枚数/USB接

続モード (p.71) / セン サークリーニング中

-10

11

12

13

L14

電子水準器

カメラの傾きを電子水準器表示で確認できます。ファインダー 内/表示パネルの露出バーには左右方向、ライブビュー画面に は前後・左右方向の電子水準器が表示できます。(p.11) 電子水準器を表示するかどうかは、▲3メニュー「電子水準器」 で設定します。(p.21)





水平時 (傾き0°)



左下がりに5°傾いているとき



縦位置に構えて右下がりに3°傾いているとき

機能の設定方法

1 基礎知識

カメラの機能を使ったり設定を変更するには、次のいずれかの 方法で行います。

ダイレクトキー	撮影待機状態で▲▼◀▶を押す
コントロールパネル	撮影待機状態で(NFO)を押す (本書では)==マークで表示)
メニュー	MEND を押す

ダイレクトキーで設定する

	ドライブモード	p.48
▼	フラッシュモード	p.43
▼	ホワイトバランス	p.54
•	カスタムイメージ	p.56



コントロールパネルで設定する

よく使用する撮影機能が設定できます。撮影待機状態で (MFO) を 押します。

INFO



1

基

礎

知

識

ほとんどの機能はメニューで設定します。コントロールパネルで設定できる機能もメニューで設定できます。



◎メモ

- C1~4メニューは、サブメニューが表示されている状態で を操作すると、次の項目の設定画面に切り替えることができます。
- MIN を押すと、そのときの状態に応じたメニューの先頭ページが表示されます。直前に操作した画面から表示させたいときは、 C4メニュー「23.メニュー選択の記憶」で設定します。
- ・設定した内容は、▲3メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。C1~4メニューは、C4メニュー「カスタムのリセット」で 初期設定に戻ります。(一部の機能を除く)

メニュー一覧

撮影メニュー

×=		項目	機能	初期設定	参照
	露出モート	<u>ٹ</u> *1	U1/U2/U3モード時の露出モードを一時的に変更	Р	p.81
	カードスロット設定 ^{*2}		メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法を設定	順次	p.37
	₅⊐¢⊒≡∿⇔	記録形式 ^{*2}	ファイル形式を設定	JPEG	p.37
		JPEG記録サイズ ^{*2}	JPEGの記録サイズを設定	L	
		JPEG画質 ^{*2}	JPEGの画質を設定	***	p.07
_		RAWファイル形式	RAWのファイル形式を選択	PEF	
D 1	AF補助投	光 ^{*2}	暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.44
	デジタルつ	7ィルター ^{*2}	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.58
		HDR撮影 ^{*2}	ハイダイナミックレンジ撮影のタイプを選択	オフ	p.59
	HDR撮影	振り幅設定 ^{*2}	露出を変化させる幅を設定	±2EV	
		自動位置調整	自動で位置調整を行うかどうかを設定	オン	
	Real Resolution *2		1画素ずつずらした4枚の画像を合成し、高精細な画像を取 得	オフ	p.60
	レンズ補 T	ディストーション補 正 ^{*2}	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正	オフ	p.60
		周辺光量補正 ^{*2}	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正	オフ	
	ш	倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正	オン	
		回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正	オン	
D 2	D-Range	ハイライト補正 ^{*2}	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	n 59
	設定	シャドー補正 ^{*2}	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	p.00
	感度AUTO設定 ^{*2}		ISO AUTOの自動調整範囲と感度アップポイントを設定	ISO 100~ISO 3200/標準	p.41
	高感度NR	*2	高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.42
	長秒時NR	*2	低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート	p.39
	プログラムライン		プログラムラインを選択	ノーマル	p.39

メニュー		項目	機能	初期設定	参照
		GPSログ	ログの記録間隔と時間を設定	15秒/1時間/ SD1	p.64
D 2	GPS	アストロトレーサー	天体追尾撮影を行うかどうかを設定	オフ	p.65
		キャリブレーション	キャリブレーションを実行	_	p.63
		詳細設定	自動時刻修正とGPSランプの点灯を設定	オン/オン	p.63
		コントラストAF ^{*2}	ライブビュー撮影時のAFモードを設定	顔検出	p.46
		フォーカスアシスト *2	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	p.46
	ライブ	グリッド表示	ライブビューにグリッドを表示	オフ	
	ビュー	ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ	p.11
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
		構図微調整	Shake Reductionユニットを利用して、構図の位置と傾き を補正	オフ	p.61
D 3	電子水準 器	ファインダー表示	ファインダー内と表示パネルの露出バーに電子水準器を表示	オフ	p.17
		ライブビュー表示	ライブビューに電子水準器を表示	オン	p.11
	自動水平補正		●モード時の左右の傾きを補正	オフ	-
	ローパスセレクター ^{*2}		Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィル ター効果をかける	オフ	p.61
	Shake Reduction *2		手ぶれ補正機能を設定	オン	-
	焦点距離入力		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用してい る場合に設定	35mm	p.90
		表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒	
		拡大表示	クイックビューで拡大表示	オン	
	クイック	RAW追加保存	クイックビューでRAW画像を追加保存	オン	n 34
	ビュー	消去	クイックビューで画像を消去	オン	p.04
D 4		ヒストグラム表示	クイックビューにヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	クイックビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
		拡大表示	デジタルプレビューで拡大表示	オン	
	テンタル プレ	プレビュー画像保存	プレビュー表示した画像を新規保存	オン	p.48
	ビュー	ヒストグラム表示	デジタルプレビューにヒストグラムを表示	オフ	F
		白とび警告	デジタルプレビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	

1 基礎知識

メニュー		項目	機能	初期設定	参照
		Р		Tv∕Av∕ ⇒ P	
		Sv		-/ISO/-	
		Тν		Tv / - / -	
		Av		-/Av/-	
		TAv		Tv/Av/PLINE	
	雨マガノ	М		Tv/Av/PLINE	
	電子ツイヤル	В		-/Av/-	p.78
	170	X		-/ Av /-	
		●● ▶ⅢP		-/-/-	
		●● Þ F áv			
		●● Þitāv		Tv/Av/PLINE	
D 4		●● ▶■M		Tv/Av/PLINE	
		回転方向設定	🛥 / 🐨 を操作したときの値の変化	順方向	
	ボタンカ	RAW/Fxボタン	働いていた。 の動作を設定	ワンタッチ RAW+	p.78
	スタマイ	AFボタン	▲の動作を設定	AF作動1	
	^	プレビューレバー	電源レバー 🗘 位置の動作を設定	光学プレビュー	
	モードメ	ЕIJ	電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	デジタルフィル ター/HDR撮影 /Real Resolution 以外オン	p.82
	USER E-	-ド登録	よく使用する撮影設定をモードダイヤル U1/U2/U3 に 登録	-	p.80

*1 モードダイヤルが**U1/U2/U3**のときのみ表示

*2 コントロールパネルでも設定可能

1

基礎知識

動画メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	露出設定 ^{*1}	, 曾モードの露出モードを選択	プログラムAE	p.40
	カードスロット 設定 *1	動画を記録するメモリーカードスロットを選択	SD1	p.37
	記録設定 *1	記録サイズとフレームレートを設定	FullHD / 30p	p.37
,22 1	録音レベル ^{*1}	記録時の録音レベルを設定	オート	-
	デジタルフィルター ^{*1}	フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.58
	HDR撮影 ^{*1}	ハイダイナミックレンジ撮影を設定	オフ	p.59
	Movie SR ^{*1}	手ぶれ補正機能を設定	オン	_

*1 コントロールパネルでも設定可能

再生メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
		表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒	
	スライド	画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ	n 69
	ショウ	繰返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ	p.69
		動画自動再生	スライドショウ中に動画も再生	オン	
	クイック拡大		拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ	p.36
E 1	白とび警告		再生モードの標準情報表示/ヒストグラム表示で白とび部 分を赤で点滅表示	オフ	-
	画像の自動回転		縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時 に回転して表示	オン	p.69
	全画像プロテクト		保存されているすべての画像をプロテクト	-	p.82
	全画像消去		保存されているすべての画像を消去	-	-

詳細設定メニュー

1	
基	
礎	
知	
識	

メニュー		· 順日	機能	初期設定	参照
	Language	/言語	表示言語の切り替え	English	p.31
	日時設定		年月日の表示形式と日時を設定	2015/01/01	p.32
	ワールドタイム		現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.81
	文字サイス	ζ.	メニュー選択時の文字サイズを拡大	標準	p.32
4 1	電子音		合焦音 / AED / セルフタイマー / リモコン / ミラーアップ / 測距点移動 / IND / IND 操作時の音量とオン / オフを切 り替え	音量3/ すべてオン	-
		ガイド表示	露出モードを変更したときに、ガイド表示を表示	オン	p.34
	画面表示	自動回転	カメラを縦位置にしたときに、ステータススクリーン/コ ントロールパネルを縦表示	オン	p.13
		配色	ステータススクリーン/コントロールパネル/メニュー カーソルの配色を設定	1	p.12
	LCD設定		画像モニターの明るさ/彩度/色味を調整	0	-
	USB接続		パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.71
	HDMI出力		AV機器とHDMI端子で接続するときに設定	オート	p.70
	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名を設定	日付	p.83
	フォルダー新規作成		メモリーカードに新しいフォルダーを作成	-	p.84
\ 2	ファイル名		画像に付与されるファイル名を設定	IMGP/_IMG	p.84
-	ファイル	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継 続	オン	n 85
	No.	ファイルNo.リセッ ト	ファイル番号をリセットし、0001から開始	_	p.00
	著作権情報	R X	Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ	p.85
	フリッカー	-低減	電源周波数を設定し、画像モニターのちらつきを低減	50Hz	-
4 3	オートパワーオフ		ー定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるま での時間を設定	1分	p.31
	バッテリー	-選択	別売のバッテリーグリップを装着したときのバッテリーの 動作を設定	自動選択/自動 判別	p.29
	通信カート	٤	Eye-Fiカード/FLUカードを使用するときの動作を設定	—	p.86

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
4 3	リセット	▲メニュー/☆メニュー/ ▶メニュー/ ▲メニュー/ダ イレクトキー/コントロールパネル/再生モードパレットの設定内容を初期化	-	-
	ピクセルマッピング	センサーの画素の欠損部分を補完	_	p.92
	ダストアラート	センサーに付着したほこりを画像モニターで確認	_	p.93
	ダストリムーバル	センサーを振動させてクリーニング	_	p.92
4 4	センサークリーニング	センサーをブロアーでクリーニングするために、ミラー アップ	-	p.93
	フォーマット	メモリーカードをフォーマット	_	p.33
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	_	-

カスタムメニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	1. 露出設定ステップ	露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ	p.39
	2. ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.41
	3. 測光作動時間	測光タイマーの作動時間を設定	10秒	1
C 1	4. AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	-
	5. 測距点と露出の関連付	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ	-
	6. 連動外の自動補正	適正露出が得られないときに自動補正	オフ	-
	7. B時の撮影方法	Bモードのシャッターボタンの動作を設定	Type1	-
	8. ブラケット撮影順	露出ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.51
	9. ワンプッシュブラケット	露出ブラケット撮影時に1回のレリーズで全コマ撮影	オフ	p.51
	10. WBの光源調整範囲	ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整 を行うかどうかを設定	固定	p.55
C 2	11. フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	オートWB	p.55
	12. 白熱灯下のAWB	ホワイトバランス「オートWB」のときの白熱灯の色味を 設定	強	p.55
	13. 色温度ステップ	ホワイトバランス「色温度」の調整ステップを設定	ケルビン	p.56
	14. スーパーインポーズ	選択された測距点をファインダー内に赤く点灯	オン	p.16

基礎知識

1

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C 3	15. AF.Sの動作	AFモードAFSでシャッターボタンを全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.45
	16. AF.C 1コマ目の動作	AFモード AF.C でシャッターボタンを全押ししたときの1 コマ目の優先動作を設定	レリーズ優先	p.45
	17. AF.C連続撮影中の動作	AFモード AF.C で連続撮影中の優先動作を設定	フォーカス優先	p.45
	18. AFホールド	合焦後に被写体が動いて見失ったときに、一定時間フォー カスを保持	オフ	p.45
	19. リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.50
	20. 色空間	使用する色空間を設定	sRGB	I
	21. 表示パネルの照明	表示パネルの照明を設定	明るい	p.17
C 4	22. 回転情報の記録	回転情報を記録	オン	p.69
	23. メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に 💷 を押したときに 記憶したメニューを表示	記憶しない	p.19
	24. キャッチインフォーカス	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」 を行う	オフ	-
	25. AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ	p.47
	26. 絞りリングの使用	レンズの絞りリングがA位置以外のときに撮影可能に設定	禁止	p.89
	カスタムのリセット	C 1~4メニューの設定内容をリセット	-	-

1 基礎知識

ストラップの取り付け

1 カメラに取り付けられてい るキズ防止カバーと三角環 にストラップ先端を通す



2 ストラップ先端を留め具の 内側に固定する



レンズの取り付け

- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認
- **2** ボディマウントカバー (①) とレンズマウントカバー(2) を外す

カバーを外したレンズは、カメラ に取り付ける面を上にして置く





3 カメラとレンズのマウント 指標(赤点/③)を合わせて 差し込み、レンズを右に回す 「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき レンズキャップを取り付ける

→レンズ取り外しボタン(④)を 押しながらレンズを左へ回す



❷注意

- レンズの取り付け/取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所 で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディ マウントカバーを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズ キャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。沈胴式レンズの操作については、「沈胴式レンズの使い方」(p.35)を参照してください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、 不具合などにつきましては保証いたしかねます。

◎メモ

• 各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」(p.88)を参照してください。

バッテリーのセット

本機専用のバッテリー D-LI90Pとバッテリー充電器D-BC90P を使用します。

バッテリーを充電する



- **2** ACコードをコンセントに差し込む
- 3 ▲マークがある面を上にしてバッテリーを充電器にセット

充電中はインジケーターランプ点灯 ランプが消灯したら充電完了

❷注意

- バッテリー充電器D-BC90Pでは、D-LI90P以外は充電しない でください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- 次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケーター
 ランプが点滅する、または点灯しない
 - 正しく充電しても使用できる時間が短い(バッテリーの寿命)

2

ØXE

 充電時間は、最大で約320分です(周囲の温度や充電状態に) よって異なります)。周囲の温度が0~40℃の環境で充電し てください。

バッテリーを入れる

◎注意

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れる と、取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入 れてください。
- ・ 電源が入っているときは、バッテリーカバーを開けたり、
 バッテリーを取り出したりしないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱 くなっていることがありますので、注意してください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出して おいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテ リーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出した バッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電して から保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電 してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持でき る場所に保管してください。
- 長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットさ れることがあります。その場合は、再度設定してください。

バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバー開放ノブをつ まみ上げ、OPENの方向に回して からバッテリーカバーを引き上 げる



2 バッテリーの▲マークをカ メラの外側に向け、ロック するまで插入 取り出すときは、バッテリーロッ





3 バッテリーカバーを閉める バッテリーカバー開放ノブを CLOSE方向に回してからノブを 収納する



ØXE

- 低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表 示されないことがあります。
- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下しま す。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意し て、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で 低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、 予備のバッテリーをご用意ください。
- ・別売のバッテリーグリップ D-BG5を使用するときは、▲3× ニュー「バッテリー選択」で以下の設定ができます。
 - 優先使田するバッテリー
 - ・ 単3形雷池を使用する場合の雷池の種類

リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマー クです。

ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するとき は、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電式 電池リサイクル協力店へお持ちください。



2

準

備

ACアダプターを使用する

画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と 接続するときは、別売のACアダプターキット K-AC132Jのご 使用をお勧めします。

- 2
- カメラの雷源が OFF になっ ていることを確認し、端子力 バーを開ける



2 AC アダプターの DC 端子と カメラのDC入力端子の▲ マークを合わせて接続



3 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに 差し込む

◎注意

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源 をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにア クセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破 指するおそれがあります。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使 用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモ リーカード
- Eve-Fiカード
- 本機対応FLUカード

本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

 $\mathbf{2}$ x = $\mathbf{1}$ - $\mathbf{1}$ の方向にスライド



3 メモリーカードのラベル面 を画像モニター側に向けて メモリーカードスロットの 奥まで挿入



Eve-Fiカード/FLUカードを使 用する場合は、SD2スロットに挿 入

取り出すときは、メモリーカード をさらに押し込む



4 メモリーカードカバーを閉じ、④の方向にスライド



❷注意

- カードアクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにメモリーカードカバーを開けると、
 電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- ・未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本 機でフォーマット(初期化)してから使用してください。 (p.33)
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影途中で終了する場合があります。

◎メモ

- メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法は、「メモリーカードの使用方法を設定する」(p.37)を参照してください。
- Eye-Fiカード/FLUカードを使用するときは、「通信カード を利用する」(p.86)を参照してください。

初期設定

電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

電源レバーを「ON」に合わ せる

初めて電源を入れたときは、 「Language/言語」画面が表示



◎メモ

 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。(初期 設定:1分)、3メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。

言語を設定する

▲▼◀▶で言語を選択して◎を押す

選択した言語で「初期設定」画面 が表示 ▲に都市名が正しく設定されて いるときは、手順6へ

「初期設定		٦
Language/言語	日本語	D
▲東京		
文字サイズ	標準	
設定完了		
(IBND 取消		

2 ▼で選択枠を ☆に移動し、 ▶を押す 「☆現在地」画面が表示

3 **→ で都市を選択** で地図表示切り替え 指定できる都市は、「都市名一覧」 (p.100) 参照



備



メモリーカードをフォーマットする

1 ▲1メニューが表示

- 2 🛥 / 🐨 で 🔧 4 メニューを表示
- 3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す 「フォーマット」画面が表示
- 4 ▲▼でフォーマットするメ モリーカードスロットを選 択、▶を押す



キャンセル

◎決定

₹4

5 ▲ で「フォーマット」を選 択、◎を押す フォーマット開始→手順4の画 面に戻る

6 💷 を2回押す

❷注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて 全データが消去されます。

◎メモ

 フォーマットを行うと、メモリーカードに「K-3 II」という ボリュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続した ときは、「K-3 II」という名称のリムーバブルディスクとし て認識されます。

撮影のキホン

最適な露出が自動で設定される ■ (グリーン) モードで撮影 してみましょう。

ファインダーを使って撮影する

1 図の矢印部分を押してレン ズキャップを外す 沈嗣式レンズ装着時は、レンズを

沈胴式レンス装着時は、レンスを 繰り出す

 C 沈胴式レンズの使い方 (p.35)
 (p.35)

2 電源を入れる

3 静止画/動画切替レバーを □ に合わせる




ライブビューで撮影

1 「ファインダーを使って撮影 する」の手順6 (p.34) で 回 を押す 画像モニターにライブビュー画 像が表示







AFフレーム

ライブビ	ュー中のボタン・ダイヤル操作	
OK	拡大表示	
	▼●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	
	▲▼◀▶で拡大位置移動	
	●で中央に戻る	
	◎で等倍に戻る	
LV	ライブビュー終了	

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

◎メモ

- M でピントを合わせることもできます。(p.44)
- ・撮影前にプレビューを表示して被写界深度が確認できます。 (p.47)
- クイックビューの画面表示と動作については、▲4メニュー「クイックビュー」で設定できます。(p.21)「表示時間」を
 № に設定すると、次の操作を行うまでクイックビューが表示されます。

❷注意

●モードは、設定できる機能が制限されます。ダイレクトキー操作などの設定できない機能を操作しようとすると、「このモードでは設定することができません」と表示されます。

モードダイヤルを簡単に操作する

モードダイヤルロック解除レ バーでロックを解除すると、 モードダイヤルロックボタンを 押さなくてもモードダイヤルが 操作できます。



沈胴式レンズの使い方 HD PENTAX-DA 18-50mm F4-5.6 DC WR REなどの沈胴式レンズ を装着している場合は、レンズ を収納した状態で電源を入れる とメッセージが表示されます。 ズームリング上のボタン(①) を押しながら②の方向に回して



レンズを繰り出します。レンズを収納するときは、ボタン を押しながら②の逆方向に回し、白い点を③の位置に合 わせます。

画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。



再生モードになり、最新画像が表示(1画像表示)



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀⁄ 🕰 左	前の画像を表示
▶/ 🕰 右	次の画像を表示
6	消去
える	拡大表示(最大16倍) ▲▼◀▶ で拡大位置移動 ● で中央に戻る ☞ で全体表示に戻る
を見た	分割表示(p.67)
112	再生スロット切り替え
AED	RAW画像を追加保存(保存可能時の み)
INFO	表示情報切り替え(p.14)
▼	再生モードパレット表示(p.66)

◎メモ

- ● 本で拡大表示したときの拡大率は、画面右下に表示されます。 が表示されたときは、ピクセル等倍表示です。
 1メニュー「クイック拡大」で、最初の拡大率が設定できます。
- 画像モニターに (王) RAW!)が表示されているときは、直前に 撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。 (バッファ RAW保存)

記録方法を設定する

メモリーカードを2枚セットした場合の記録方法を ●1メ ニューまたはコントロールパネル「カードスロット設定」で設 定します。

→∄	順次	SD1のカードがいっぱいになったらSD2 に記録
+12	複製	SD1/SD2に同じデータを同時記録
RAW1 JPG2	RAW JPEG分離	SD1にRAW、SD2にJPEGを記録

◎メモ

静止画の記録設定

01/

静止画の記録形式は、▲1メニューまたはコントロールパネル 「記録設定」で設定します。

記録形式	JPEG/RAW/RAW+
JPEG記録サイズ	L/M/S/XS
JPEG画質	*** / ** / *
RAWファイル形式	PEF / DNG

❷注意

 「カードスロット設定」を「RAW / JPEG分離」に設定した ときは、「記録形式」は「RAW+」固定です。

◎メモ

- ・「記録形式」を「RAW+」に設定すると、ファイルNo.が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- 🐼 を押したときだけ記録形式を変更して撮影することも できます。(p.79)
- ・「RAW ファイル形式」の「PEF」は、PENTAX 独自の RAW ファイルフォーマットです。

動画の記録設定



動画の記録形式は、 2011 メニューまたはコントロールパネル 「記録設定」で設定します。

記録サイズ	フレームレート
FullHD	60i/50i/30p/25p/24p
HD	60p/50p/30p/25p/24p

3 撮影

静止画を撮影する

被写体や状況によって露出モードを選択します。 本機では以下の露出モードがあります。

○:設定可 △:条件付きで可 ¥:設定不可

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△*1	△*1	0	0
Sv 感度優先 自動露出	×	×	⊜*²	0
Tv シャッター 優先自動露出	0	×	0	0
Av 絞り優先 自動露出	×	0	0	0
TAv シャッター& 絞り優先 自動露出	0	0	⊖ *3	0
M マニュアル 露出	0	0	⊖ * 2	0
B バルブ露出	×	0	⊖ ^{*2}	×
X フラッシュ 同調速度	× *4	0	⊖ *²	0

*1 🖸 4メニュー「電子ダイヤル」で変更する値を指定可能(p.78)

*2 ISO AUTO選択不可

*3 ISO AUTO固定

*4 1/180秒固定

1 モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる

ステータススクリーンには、変更可能な値に



30 EYS

ファインダー内には、変更可能な 値にアンダーラインが表示

表示パネルには、変更可能な値に ▶が表示



lso 100

ライブビュー撮影では、変更可能 な値に▶が表示



2 マラシを回す Av / TAv / M / B / X モード の絞り値が変更 Sv モードはISO感度が変更



3 ▲ を回す Tv / TAv / Mモードのシャッ ター速度が変更



◎メモ

- 露出の設定は、1/3 EVステップで指定ができます。C1メニュー「1. 露出設定ステップ」で1/2 EVステップに変更できます。
- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度/ 絞り値で適正露出が得られない場合があります。
- M/Xモードでは、露出の調整中に適正露出との差がバー グラフで表示されます。
- Bモードでは、ドライブモードの連続撮影/露出ブラケット /多重露出連続撮影/インターバル撮影/インターバル合成は選択できません。
- ・低速のシャッター速度で撮影するときは、▲2メニューまたはコントロールパネル「長秒時NR」で、ノイズ軽減処理の設定ができます。

Αυτο	シャッター速度・ISO感度・カメラ内部温度を判 断してノイズリダクションを行う
ON	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダク ションを行う
OFF	ノイズリダクションを行わない

プログラムライン

■2メニュー「プログラムライン」で、●の動作を「PLINE」 に設定したときの露出の制御方法を指定できます。

OTUA	オート	カメラが適切な設定を判断
Normal	ノーマル	基本のプログラム自動露出
Ø	高速優先	高速シャッターを優先
3	深度優先 (深い)	被写界深度を深くする
	深度優先 (浅い)	被写界深度を浅くする
MTF	MTF優先	使用レンズの最良の絞り値を優先 DA/DA L/D FA/FA J/FAレンズ使 用時に有効

露出補正

露出を-5~+5 EV(, ✿モードは-2~+2 EV)の範囲で補正で きます。

7 ②を押してからでかった回す 補正中はステータススクリーン /ファインダー内/表示パネル /ライブビューに図と補正値が 表示



ボタン・ダイヤル操作

2 設定の開始/終了

リセット

◎メモ

0

・露出を自動的に変化させて撮影したいときは、「露出ブラケット」を利用します。(p.50)

動画を撮影する

1 静止画/動画切替レバーを,曾に合わせる ライブビューが表示 音声



録画可能時間

2 ピントを合わせる

AFモード時は、シャッターボタン半押し

3 ⊚を押す

撮影開始 画像モニター左上に「REC」が 点滅し、記録されるファイル容量 が表示



4 もう一度 ● を押す ^{撮影終了}

❷注意

- ・音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども 録音されます。
- デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合は、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、撮影中にレンズを収納 すると録画が中止され、エラーメッセージが表示されます。

◎メモ

- 撮影の開始/終了はシャッターボタン全押しでも操作できます。
- ・動画の設定は、 21メニューまたはコントロールパネルで設定します。(p.23)「露出設定」を 歳、/ 歳、/ 歳、/ ↓ に設定した場合は、撮影前に露出が設定できます。
- 「録音レベル」を「マニュアル」に設定した場合、画像モニター左端(ステレオマイク接続時は両端)にマイクのレベルを表すバーグラフが表示されます。
- 動画は最大4GB、または最長25分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。

マイクやヘッドホンを利用する

マイク端子に市販のステレオマ イクを接続すると、ステレオで音 声を録音できます。外部マイクを 利用すると、カメラの動作音など が録音されることを軽減できま す。



外部マイクは以下の仕様を推奨 します。

ヘッドホン端子

プラグ	ステレオミニ (Φ3.5mm)
形式	ステレオ エレクトレットコンデンサ
電源	プラグインパワー方式(動作電圧 2.0V以下)
インピーダンス	2.2kΩ

撮影中に外部マイクを外すと無音になるので、注意してく ださい。

また、ヘッドホン端子に市販のヘッドホンを接続すると、音 声をヘッドホンで聴きながら撮影/再生ができます。

動画の再生

1 再生モードの1画像表示で再 生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

	再生/一時停止
•	(一時停止中)コマ送り
▶長押し	早送り再生
•	(一時停止中)コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
Frank	音量調節(21段階)
AED	(一時停止中)表示中のコマをJPEG形 式で保存
INFO	標準情報表示/情報表示なし切り替え

◎メモ

• 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.75)

露出を設定する

ISO感度

 を押してから を回 す
 ステータススクリーン/ファインダー内/表示パネル/ライブビューのISO感度が変化
 を押すとISO AUTOに戻る



◎メモ

- ・ 増モード(「露出設定」・ のみ)では、ISO 100~3200の間 で設定できます。
- ISO 感度の調整ステップは 1EV ステップです。露出設定ステップに合わせるときは、C1メニュー「2. ISO 感度ステップ」で設定します。

ISO AUTOの調整範囲を設定する ロ2/ ■

ISO AUTOのときの調整範囲を ▲2 メニューまたはコントロールパネル 「感度 AUTO 設定」で指定できます。 (初期設定:ISO 100~ISO 3200) また、「感度アップポイント」で感度 の上げ方を指定できます。



s.ow/	できるだけ感度を上げない
5	標準
/FAST	積極的に感度を上げる

❷注意

 ●1メニュー「HDR撮影」を有効にして「自動位置調整」を オンに設定している場合は、「感度アップポイント」は「一個 定です。

高感度時のノイズリダクション

D2/

ISO感度を高く設定しているときの ノイズ低減処理を、▲2メニューま たはコントロールパネル「高感度 NR」で指定できます。



オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを 行う
弱/中/強	弱/中/強のノイズリダクションを行う
カスタム	ISO感度別にノイズリダクション処理を設定
オフ	ノイズリダクションを行わない

「カスタム」を選択した場合は「設定」 を選択し、ISO感度別に設定します。

高原	態度NR	<u>1</u> 2]
150	100	IS NO D
150	200	NONE .
	400	NONE
	800	D. IN
	1600	ISONR
	3200	ISONR
	6400	ISON R
MENU	5	●リセット

測光方式

センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定 します。

1 ◎を押しながら 🐨 を回す





◎ 分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正
◎ 中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正 されない
⊡ スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

フラッシュを使う

別売の外付けフラッシュを接続してフラッシュ撮影ができま す。

フラッシュを接続する

カメラのホットシューカバーを外し て外付けフラッシュを取り付けま す。



◎メモ

• 外付けフラッシュの機能については、「外付けフラッシュ利 用時の機能」(p.91)を参照してください。

フラッシュモードを設定する

1 撮影待機状態で▼を押す

2 フラッシュモードを選択



4 ^	自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光 をカメラが判断
4 0	自動発光 +赤目軽減	自動発光前に赤目軽減のための予 備発光を行う
4	強制発光	常に発光
4 ®	強制発光 +赤目軽減	強制発光前に赤目軽減のための予 備発光を行う

srow ≵	スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
slow	スローシンクロ	スローシンクロ発光前に、赤目軽
©₩	+赤目軽減	減のための予備発光を行う

3 光量を補正するときは、▼を 押してから マテクで調整 ●でリセット

	強制発光	
	_	
	~£2 €+0.7	
(IIII)取消		◎決定

4 図を押す

撮影待機状態に戻る

◎メモ

露出モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

露出モード	選択可能なフラッシュモード
	↓ / ↓ *光量補正不可
P/Sv/Av	4 / 4 _☉ / ^{sLOW} / ^{sLOW} ∕ ^{SLOW}
Tv/TAv/M/B/X	4 ∕ 4 _®

- Avモードでのフラッシュ撮影は、使用レンズによって1/180 秒から低速側までシャッター速度が変化します。DA/DAL /DFA/FAJ/FA/Fレンズ以外を使用した場合は、シャッ ター速度は1/180秒固定です。
- Tv / TAv / Mモードでのフラッシュ撮影は、1/180秒以下の シャッター速度が設定できます。

フォーカスモードを設定する

フォーカスモード切替レバーで**AF** /**MF**を切り替えます。



ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカス の方法が異なります。

ファインダー撮影	TTL位相差検出式 AF.S / AF.C とこれらを自動で切り替 える AF.A が選択可能 「測距点」でピントを合わせる位置を設 定 (p.45) 「コントラスト検出式」よりも高速な オートフォーカスが可能
ライブビュー撮影	コントラスト検出式 顔検出や追尾が可能(p.46)

◎メモ

・ № でピントを合わせることもできます。 № の動作は、 ●4メニュー「ボタンカスタマイズ」で設定します。(p.78)



ファインダー撮影のAFモード

1 📾 を押しながら 🕰 を回す



.....



AF.S シングルモード	シャッターボタン半押しでピントが 合うと、その位置にピントを固定 必要に応じてAF補助光が発光
AF.C コンティニュアス モード	シャッターボタン半押しの間、被写体に合わせて常にピントを調整 ピントが合うとファインダー内の ●が点灯 ピントが合っていなくても撮影可能
AF.A 自動選択モード	被写体の状況に応じて AF.S / AF.C を自動で切り替え

ØXE

 C3メニューで、オートフォーカスの動作に関する以下の設 定ができます。

15. AF.Sの動作	フォーカス優先/レリーズ優 先
16. AF.C 1コマ目の動作	レリーズ優先/オート/ フォーカス優先
17. AF.C連続撮影中の動作	フォーカス優先/オート/コ マ速優先
18. AFホールド	オフ/弱/中/強

「18. AFホールド」は、合焦後に被写体が動いて見失ったと きにすぐにAFを再作動させるか、一定時間フォーカスを保 持してからAFを作動させるかを設定します。初期設定では、 非合焦時にすぐにAFが作動します。

■モードは、AFA固定です。

測距点を選択する

1 高かを押しながら ながを回す

🌌 オート(27点)	27点から自動でピント位置を決定
🏼 ゾーンセレクト	選択した9点から自動的にピント 位置を決定
🔳 セレクト	27点中の任意の1点を選択
■ セレクトエリア 拡大(S)	27点中の任意の1点を選択。合焦 後に被写体が動いて見失った場合 は、周囲の8点から選択 AF.S時は選択不可
■ セレクトエリア 拡大(M)	27点中の任意の1点を選択。合焦 後に被写体が動いて見失った場合 は、周囲の24点から選択 AF.S 時は選択不可
■ セレクトエリア 拡大(L)	27点中の任意の1点を選択。合焦 後に被写体が動いて見失った場合 は、周囲の26点から選択 AF.S時は選択不可
■ スポット	27点中の中央の1点にピントを合 わせる

■ / ・ 以外は手順2へ

2 測距点を指定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	測距点を移動
OK	中央に戻す
8	▲▼ ◀ ▶ の機能を測距点移動モード/ ダイレクトキーモードに切り替え

影

...

ライブビュー撮影のAFモード

ライブビュー撮影時のAFモードは、 23メニュー「ライブ ビュー」またはコントロールパネルの「コントラストAF」で 設定します。 (M) を押しながら マア を回して変更することも できます。

Ø	顔検出	人物の顔を検出して追尾 AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表 示
ш	追尾	ピントが合った被写体を追尾 ピントが合っていなくても撮影可能
Atto	多点オート	任意のエリアにピントを合わせる センサーを45分割(横9×縦5)し、AFエ リアを任意の範囲に設定。AFエリアの大 きさは、45分割中の1/9/15/21個のサ イズから選択
÷	セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
•	スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

❷注意

■ は、フォーカスロック動作(シャッターボタン半押し状態での構図調整)はできません。

任意の範囲にピントを合わせる

オートフォーカスするエリアを任意の位置・範囲に設定しま す。

- 1 AFモードを
 ■/●に設定
- **2** ፼を押す

₫3/

3 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	AFエリアを移動	
Frents	(多点オート)AFエリア拡大/縮小	
0	中央に戻す	

AFエリアが確定

◎メモ

 ●3メニュー「ライブビュー」の「フォーカスアシスト」を オンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、 確認しやすくなります。AF / MFの両方で有効です。

3

AF位置を微調整する

C4

- オートフォーカスのピント位置を微調整します。
- **1 C4メニュー「25. AF微調整」を選択、▶を押す** 「25. AF微調整」画面が表示
- 2 ―律/個別を選択、四を押す

ー律 すべてのレンズで同じ調整値を適用

個別 使用中のレンズの調整値を登録(最大20種類)

3 「設定」 で値を調整

25. AF微調整 2 一律 設定) (<u>+ 0</u>) (
OED 取消	©±0	◎決定

ボタン・ダイヤル操作

▶/ ₹… 7右	前方向に調整
◀/ ₩₽左	後方向に調整
0	リセット

4 🛯 を押す

設定値が登録

5 **(王)** を2回押す 撮影待機状態に戻る 被写界深度を確認する(プレビュー)

電源レバーを Q に合わせるとプレ ビューができます。 2つのプレビュー方法があります。



光学プレビュー	被写界深度をファインダーで確認
デジタルプレビュー	構図・露出・ピントなどを画像モニ ターで確認(最長60秒) 拡大表示したり、プレビュー画像を 保存することが可能



3 撮影

◎メモ

- ドライブモードがミラーアップ撮影/多重露出/インター バル撮影/インターバル合成のときと「アストロトレー サー」設定時のプレビュー操作は、設定にかかわらず光学プ レビューになります。
- ・デジタルプレビューの画面表示と動作については、▲4メ
 ニュー「デジタルプレビュー」で設定できます。(p.21)
- ブレビューは、(愛) に割り当てることもできます。(p.78) 電源レバー ()と(愛) にそれぞれ割り当てをすれば、簡単に 光学ブレビュー/デジタルプレビューの使い分けができま す。

3

撮

影

• 一部の機能は、デジタルプレビューに適用されません。

ドライブモードを設定する

以下のドライブモードが選択できます。

1コマ撮影 (口)	通常の撮影
連続撮影 (말'/말/말)	シャッターボタンを押している間に 連続撮影(p.49) 速度によって連続撮影できる枚数が 異なる
セルフタイマー (() / ()。	シャッターボタンを押してから12秒 後/2秒後に撮影(p.49)
リモコン (▮/▮₃ / №)	リモコンで撮影(p.50) 即時/3秒後/連続撮影が選択可能
露出ブラケット (⁄ ⁄ / ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄ ⁄	露出が異なる画像を連続して撮影 (p.50) 標準/セルフタイマー/リモコンが 選択可能
ミラーアップ撮影 (M.UP / ≌)	ミラーをアップして撮影(p.51) 標準/リモコンが選択可能
多重露出 (■/嚸/◎/໑。)	任意の枚数を1枚の画像に合成しなが ら撮影(p.52) 標準/連続撮影/セルフタイマー/ リモコンが選択可能
インターバル撮影 (ざ ⁾)	指定時刻から一定間隔で連続撮影 (p.52)
インターバル合成 (聲)	ー定間隔で撮影した画像を1枚に合成 星や月の光跡などを1枚の画像に記録 (p.53)
インターバル動画 (_心)	ー定間隔で撮影した静止画を1つの動 画ファイルで保存(p.53) ■モード時のみ選択可能

❷注意

 設定している機能によっては、選択できるドライブモードが 制限されます。(p.87)

❷注意

◎メモ

- ・ 営モードでは、 brr / i / ジ[□]のみ選択できます。
- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。
 4メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに「1コマ撮影」に戻ります。(p.82)
- セルフタイマー/リモコン/ミラーアップ撮影を選択した ときは、▲3メニュー「Shake Reduction」は自動的にオフ になります。
- セルフタイマー/リモコンを使用 するドライブモードを選択してい るときは、ファインダーから入る 光が露出に影響を与えることがあ ります。その場合は、AEロック を使用するか、付属のMEファイ ンダーキャップを利用してくださ し、サーマークはない。



い。MEファインダーキャップは、アイカップを外して取り 付けます。

連続撮影

1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示

2 ⊒"を選択、▼を押す



3 撮影

3 □^t / □^t / □^t を選択、 ◎を押す 撮影待機状態に戻る

◎メモ

 「AFモード」がAF.Sのときのオートフォーカスは、1枚目の 合焦位置に固定されます。

セルフタイマー 1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示 2 ⊗を選択、▼を押す ^{セルフタイマー(120)}

- 4 シャッターボタン半押し→全押し セルフタイマーランブ点滅 12秒後または2秒後に撮影

リモコン

1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示
2 iを選択、▼を押す ^{リモコン} □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
J ▮ / ₽ss / ₽ac 選択、 ◎ を押す 撮影待機状態に戻る セルフタイマーランプ点滅
4 シャッターボタン半押し
5 カメラ正面/背面のリモコン受光部にリモコ 向け、リモコンのシャッターボタンを押す

◎メモ

- リモコン撮影できる距離は、カメラ正面から約4m、背面から約2mです。
- リモコンでピント合わせをしたいときは、C3メニュー「19. リモコン時のAF」で設定します。
- 防水リモコン O-RC1を使用時は、リモコンの¼ボタンでピント合わせができます。Fnボタンには対応していません。

露出ブラケット

命決定

ンを

- 1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示
- 2 塗を選択、▼を押す
- 3 ⁄ 圖 / 圖 / 圖 を選択、▼を押す
- 4 ▲ で撮影枚数を選択 2枚(+側)/2枚(-側)/3枚/5枚から選択
- 5 ブラケット幅を設定する



ボタン・ダイヤル操作

Frent	ブラケット幅変更(最大 ±2 EV)
⊠→আ	露出補正
0	リセット

6 @を押す

撮影待機状態に戻る

7 設定した枚数を撮影する

撮影が終了すると、手順6の撮影待機状態に戻る

◎メモ

- ブラケット幅は、C1メニュー「1. 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。
- C2メニューで、露出ブラケットに関する以下の設定ができます。

8. ブラケット撮影順	撮影順を変更
9. ワンプッシュブラケット	1回のレリーズでまとめて撮影

ミラーアップ撮影

1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示

2 MUPを選択、▼を押す



撮影

3

- 3 M.UP / ₩ を選択、 ◎ を押す 撮影待機状態に戻る
- 4 シャッターボタン半押し→全押し ミラーがアップし、AEロック
- 5 もう一度シャッターボタン全押し 撮影後、ミラーダウン

◎メモ

ミラーアップ後1分経過すると、自動的にミラーが下がります。

❷注意

ライブビュー撮影時は、ミラーアップ撮影は選択できません。

多重露出

1	撮影 ドラ	待機状態 イブモート	§で▲を押す ド画面が表示	
2	⊫∎≉	を選択、	▼を押す	
3	= /	/ •	◎/℡を選択、	▼を押す
4	「合」	成方法」:	を選択	平均 그 및 '
				(1970)取消 (13)
		平均	露光量を平均して	合成
		加算	露光量を加算して	合成
		比較明	明るい部分を合成	
5	5 「撮影回数」を指定 2~2000回で指定			
6	○○ を押す 撮影待機状態に戻る			
7	撮影する クイックビュー表示			
	クイ	ックビュー	ー中のボタン・ダイ	イヤル操作
	6	匪	回像を破棄し、1回	目から撮影し直し
	ME	■ 損 一 損	最影済み画像を保存 [、]	じ、✿メニューを表
	設定	回数の撮影	影が終了すると、撤	最影待機状態に戻る

インターバル撮影

1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示

2 ⊗ೌを選択、▼を押す

3 撮影条件を設定

インター	-バル撮影
පම්ල් ම	🖄 MUP 🖃 🎯 🗳
撮影間隔	∢00:00'02">
撮影回数	0002回
開始トリカー	即時
(LIND 取消	◎ 決定

撮影間隔	2秒間~24時間で設定	
撮影回数	2~2000回で設定	
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時/時 刻指定から選択 「時刻指定」の場合は「撮影開始時刻」 を設定	

4 設定が終わったら®を押す

撮影待機状態に戻る

5 _{撮影する}

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始 クイックビュー表示後、画像モニター消灯 撮影を途中で終了する場合は、シャッターボタンを半押し し、待機中画面で (EDD)を押す 設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

Ø×Ŧ

• 「撮影間隔」の最小値は、▲1メニュー「デジタルフィルター」 設定時は10秒、「HDR撮影」設定時は20秒になります。

3 撮影

インターバル合成

1 撮影待機状態で▲を押す ドライブモード画面が表示

2 彎を選択、▼を押す

3 撮影条件を設定

平均		
*& i 🖾	A UP 🖃 🖑 🏭	
合成方法 途中経過保存 撮影間隔 撮影回数	00:00'02" 0002	
開始トリガー	即時	
ᅋΩ取消	◎決定	

合成方法	平均/加算/比較明から選択(「多重露 出」(p.52)参照)	
途中経過保存	途中の画像を保存する場合は 🗹	
撮影間隔	2秒間~24時間で設定	
撮影回数	2~2000回で設定	
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時/時 刻指定から選択 「時刻指定」の場合は「撮影開始時刻」 を設定	

4 設定が終わったら◎を押す

撮影待機状態に戻る

5 撮影する

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始 撮影を途中で終了する場合は、待機中画面ででででした。 設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

◎メモ

• 撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

インターバル動画

★ モードのときは、一定間隔で撮影した静止画を1つの動画 ファイル (Motion JPEG、拡張子:.AVI) で保存する「イン ターバル動画」が撮影できます。

1 静止画/動画切替レバーを,曾に合わせて▲を押す ドライブモード画面が表示

2 ₀₽を選択、▼を押す

3 撮影条件を設定



記録サイズ	[4K] / FullHD / [HD] から選択
撮影間隔	2秒/5秒/10秒/20秒/30秒/1分/ 5分/10分/30分/1時間から選択
撮影所要時間	撮影開始から終了までの所要時間を14 秒~99時間で設定。「撮影間隔」によっ て、設定できる時間が異なる
開始トリガー	1回目を撮影するタイミングを即時/時 刻指定から選択 「時刻指定」の場合は「撮影開始時刻」 を設定

4 設定が終わったら∞を押す

撮影待機状態に戻る

5 シャッターボタンで撮影する

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影 クイックビュー表示後、画像モニター消灯 撮影を途中で終了する場合は、シャッターボタンを半押し し、待機中画面でで配のを押す 設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

◎メモ

・「撮影間隔」の最小値は、
 ・
 ・
 1メニュー「デジタルフィルター」
 設定時は10秒、「HDR撮影」
 設定時は20秒になります。

ホワイトバランスを設定する

1 撮影待機状態で ◀を押す ホワイトバランス設定画面が表示

2 ホワイトバランスを選択



AWB	AWBオートWB ▥₄マルチパターンオートWB
萘	太陽光
₿∾	日陰
ර	曇天
ӭ	兴,昼光色蛍光灯 兴,昼白色蛍光灯 兴,白色蛍光灯 洪,電球色蛍光灯
- <u>À</u> -	白熱灯
A ₩B	フラッシュ
CTE	Color Temperature Enhancement
	マニュアルWB1~3
Κ	色温度1~3

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

電源レバー 改	設定を適用した背景画像をデジタ ルプレビュー
AE-D	プレビュー画像を保存(保存可能 時のみ)

微調整が不要なときは、手順5へ





ボタン・ダイヤル操作

▲▼ G-M (グリーン-マゼンタ) 間

■ B-A (ノルー-アノハー) 同	\bullet	B-A(ブルー-アンバー)「	間
--------------------	-----------	----------------	---

● リセット

4 🛯 を押す

手順2の画面に戻る

5 図を押す

撮影待機状態に戻る

❷注意

 ドライブモードが多重露出/インターバル撮影/インター バル合成のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はでき ません。

◎メモ

- ■▲は、光源が混在する場所でも領域ごとの光源を判断して 自動調整します。(▲モード時は不可)
- C2メニューでホワイトバランスに関する以下の設定ができます。

10. WBの光源調整範囲	固定/自動調整
11. フラッシュ発光時のWB	オートWB/マルチパターン オートWB/フラッシュ/変 更しない
12. 白熱灯下のAWB	強/弱
13. 色温度ステップ	ケルビン/ミレッド

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

ホワイトバランスを設定する」(p.54)の手順2で
 □ を選択、▼を押す

2 旦1~旦3を選択



3 測定する照明の下で白い被写体を選択し、シャッターボタンを全押し 撮影画像表示

4 ▲▼ ◀▶ で測定範囲を指定

5 図を押す

ホワイトバランス設定画面に戻る 測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」 と表示。 ◎ で再測定

⊚×モ

再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスをし1~し3に登録できます。(p.66)

色温度でホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを指定します。

1「ホワイトバランスを設定する」(p.54)の手順2で Kを選択、▼を押す

2 K1~K3を選択

3 📭 を押す



3

4 色温度を調整

2500~10000Kの範囲で設定



ボタン・ダイヤル操作

	100ケルビン単位
FULLY	1000ケルビン単位
▲▼◀►	微調整

5 図を押す

ホワイトバランス設定画面に戻る

◎メモ

C2メニュー「13. 色温度ステップ」で「ミレッド」に設定すると、ミレッド単位で色温度が設定できます。
 ミレッド単位、
 で100ミレッド単位で変更ができます。
 その場合も、画面表示はケルビン換算で表示されます。

仕上がりイメージを決めて撮影する

少し変わった雰囲気の写真を撮影したいときなどは、でき上が りイメージを先に決めてから撮影します。 いろいろな設定で撮影してみて、お気に入りの撮影方法を見つ けてください。

カスタムイメージ

1 撮影待機状態で▶を押す カスタムイメージ設定画面が表示

2 画像仕上を選択



鮮やか(初期設定)	ほのか
ナチュラル	銀残し
人物	リバーサルフィルム
風景	モノトーン
雅(MIYABI)	クロスプロセス
ポップチューン	

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

電源レバー 改	設定を適用した背景画像をデジタ ルプレビュー
AE-D	プレビュー画像を保存(保存可能 時のみ)

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 🔤を押す

パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	パラメーター選択
•	值調整
	コントラスト/コントラストハイライト調 整/コントラストシャドー調整切り替え
E	シャープネス/ファインシャープネス/エ クストラシャープネス切り替え(☆ モー ド時は不可)
0	リセット

5 @を押す

手順2の画面に戻る

6 図を押す

撮影待機状態に戻る

❷注意

- ■モードのときは、設定できません。
- ドライブモードが多重露出/インターバル撮影/インター バル合成のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はでき ません。

撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

「クロスプロセス」を設定して撮影した画像は、撮影するたび に処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮 影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用す ることができます。

1 再生モードの1画像表示で▼を押す ^{再生モードパレットが表示}

2 🖾 を選択、 🗅 を押す

最新画像から順にクロスプロセス画像を検索 見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありませ ん」と表示

3 🕰 でクロスプロセス画像 を選択



4 登録する番号を選択、四を押す

指定した画像の設定がお気に入り1~3に登録

◎メモ

登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」(p.56)の手順2で「クロスプロセス」を選択し、パラメーターでお気に入り1~3を選択して呼び出します。



1 □1/」曾1メニュー「デジタルフィルター」を選択、 ▶を押す

デジタルフィルター設定画面が表示

2 フィルターを選択

デジタルフィルター撮影を終了 するときは「フィルターオフ」を 選択



◘1/,≌1/

色抽出	シェーディング
トイカメラ	ネガポジ反転
レトロ	ソリッドモノカラー
ハイコントラスト	ハードモノクローム

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

電源レバー 改	設定を適用した背景画像をデジタ ルプレビュー
AE-D	プレビュー画像を保存(保存可能 時のみ)

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 📭 を押す

パラメーター設定画面が表示





ボタン・ダイヤル操作

▲▼ パラメーター選択

◆● 値調整

5 図を押す

手順2の画面に戻る

6 @を押す

7 💷 を押す

撮影待機状態に戻る

❷注意

- ・ 一部の機能とは組み合わせができません。(p.87)
- ドライブモードが多重露出/インターバル撮影/インター バル合成のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はでき ません。
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

◎メモ

 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。 (p.73)

補正して撮影する

明るさを補正する

ハイライト補正/シャドー補正



ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白 とび/黒つぶれを防ぎます。

▲2メニュー「D-Range設定」、またはコントロールパネルで 設定します。

❷注意

ISO感度をISO 200未満に設定すると、ハイライト補正をオンに設定することはできません。

◎メモ

 ・ ★ モードのときのハイライト補正は、オート/オフが設定 できます。

HDR撮影

01/**=**

露出が異なる3枚の画像を撮影して合成します。

1 △1メニュー「HDR撮影」を選択、▶を押す 「HDR撮影」画面が表示



3「振り幅設定」で露出を変化させる幅を選択 ±1EV/±2EV/±3EVから選択

4「自動位置調整」を設定

☑ 自動位置調整を行う

□ 自動位置調整を行わない

5 💷 を2回押す

撮影待機状態に戻る

❷注意

- ■/B/XモードではHDR撮影はできません。
- ・ 一部の機能とは組み合わせができません。(p.87)
- ドライブモードが「インターバル撮影」に設定されているときは、「自動位置調整」はオフ固定です。
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

レンズ特性を補正する

D2/**E**

▲2メニュー「レンズ補正」で以下 の補正ができます。



影

ディストーション 補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補 正
周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下 を補正
倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を 補正
回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正

◎メモ

- ディストーション補正/周辺光量補正は、コントロールパネルで設定することもできます。
- レンズ補正に対応しているレンズを装着しているときだけ 設定できます。(p.88)また、カメラとレンズの間にリアコンバーターなどのアクセサリーを装着した場合は、設定は無効です。
- 「記録形式」がRAW/RAW+の場合は、補正情報がRAWファイルのパラメーターに記録され、RAW展開時にオン/オフが選択できます。また、RAW展開時には「フリンジ補正」が設定できます。(p.76)

高精細画像を出力する

D1/

「Real Resolution (リアル・レゾリューション)システム」では、Shake Reductionユニットを移動して1画素ずつずらした4枚の画像を合成し、静止物の撮影で高精細な画像を得ることができます。

▲1メニューまたはコントロールパ ネル「Real Resolution」でオンに設 定します。

♪ ① <u>1</u> 2 3 4 カードスロット設定 記録設定 Fi設タルフィルター HDR撮影 Real Resolution	→ 1 JPEC ▲ (***
OEDD 取消	

❷注意

- ・ 以下のときは、Real Resolutionは利用できません。
 - **■**/**B**/**X**₹−ド
 - ・,**≌**モード
- 一部の機能とは組み合わせができません。(p.87)
- ●3メニュー「Shake Reduction」は、オフ固定です。

◎メモ

撮影時は、三脚などでカメラをしっかりと固定してください。ドライブモードのセルフタイマー/リモコン/ミラーアップ撮影を利用すると効果的です。

ローパスフィルター効果を利用する 🗗 3/ 🥅

Shake Reductionユニットを振動させることによって、ローパ スフィルターのようなモアレ低減効果を得ることができます。

- 1 ▲3メニュー「ローパスセレクター」を選択、▶を 押す
- 2 タイプを選択、◎を押す



TYPE1	解像とモアレ低減のバランスをとって撮影
TYPE2	モアレ低減優先
ブラケット 撮影	オフ/TYPE1/TYPE2の順に連続して撮影(1 回のレリーズで3枚撮影)

❷注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.87)
- ・ 以下のときは「ブラケット撮影」は選択できません。
 - Bモード
 - ドライブモードが1コマ撮影/セルフタイマー(12秒/ 2秒)/リモコン(即時/3秒後)以外のとき
 - HDR撮影
 - ・撮影可能枚数が2枚以下のとき
- シャッター速度が1/1000秒より高速な場合は、十分な効果が 得られません。

構図を補正する

Shake Reductionユニットを移動させることによって、構図の 位置と傾きを補正します。ライブビュー撮影時に、三脚にカメ ラを固定した状態で構図を調整したいときなどに使用します。

- **1** □3メニュー「ライブビュー」を選択、▶を押す 「ライブビュー」画面が表示
- 2 「構図微調整」を選択、🗹 にする
- 3 (ED) を2回押す 撮影待機状態に戻る

4 🗆 を押す

ライブビューになり、「構図を調整してください」と表示

5 構図を調整する 補正量のステップ数t

補正量のステップ数が画面右上に表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	構図を移動(最大24ステップ)
E	傾きを補正(最大8ステップ。移動量が
	17ステップ以上のときは不可)

O リセット

6 🛯 を押す

ライブビューの撮影待機状態に戻る

3 撮

影

D3

❷注意

- ・ 以下のときは、構図微調整はできません。
 - ドライブモードのインターバル撮影/インターバル合成 /インターバル動画
 - ・「アストロトレーサー」設定時

◎メモ

 ・構図微調整位置は、ライブビューを終了したり電源を切って も記憶されています。ライブビューを終了したら調整位置を リセットしたい場合は、▲4メニュー「モードメモリ」で 「構図微調整範囲」をオフに設定します。(p.82)

GPSを利用する

本機に内蔵されているGPSユニットで、以下の機能が利用できます。

GPSログ	定期的に受信した測位結果をメモリーカード に保存(p.64)	
アストロ トレーサー	天体を追尾して撮影(p.65) 内蔵されているShake Reductionユニットを 天体の動きに合わせて動かすことによって、 長時間露光でも天体を点状に撮影	
自動時刻修正	GPS衛星から取得した情報を利用して、カメ ラの日時設定を自動的に補正(p.63)	

GPSを押すと電子音が鳴ってGPSラ ンプが点灯し、GPSがオンになりま す。もう一度押すと、オフになりま す。



ステータススクリーン/ライブビューでGPS測位の状態が確認できます。

GPS測位状態

緑	3D測位
黄	2D測位
赤	未測位



GPSがオンの状態で静止画を撮影すると、画像にGPSデータ が記録されます。動画には記録されません。GPS情報は、再生 モードの「詳細情報表示」で確認できます。(p.14)

の注意

- 動画の撮影中はGPSのオン/オフは切り替えられません。
- GPSがオンになっていると、バッテリーの消耗が早くなりま す。
- 近くに磁石等の磁界を発するものや鉄などの磁性体がある と、電子コンパスが正しく表示されない場合があります。
- 画像に記録されたGPSデータは消去できません。SNSへの投 稿などで位置情報を公開したくない場合は、GPSをオフにし てください。
- ・ 別売のGPSユニットO-GPS1は利用できません。
- その他のGPSに関する注意事項は、「GPSについて」(p.108) を参照してください。

ØXE

 GPS情報が取得できているときは、協定世界時(UTC)が撮 影日時として画像に記録されます。電子コンパス画面(p.13) には、協定世界時と撮影場所の時差を補正した時刻が表示さ れます。

GPSの動作を設定する

D2

□2×ニュー「GPS」の「詳細設 定して、「自動時刻修正」と「GPS ランプ | のオン/オフが設定できま す。



キャリブレーションを実行する

方位情報が正確に取得できるようにするために、カメラを調整

✿2メニュー「GPS」を選択、▶を押す

[GPS] 画面が表示

します。



 \mathbf{D}^2

2「キャリブレーション」で▶を押す 「キャリブレーション」 画面が表示

3 画面の指示に従って、カメラ を回転させる 終了すると、処理結果が表示



Δ 兪を押す

[GPS] 画面に戻る

◎注意

- キャリブレーションを行うときは、ストラップを手首に巻く などしてカメラを落とさないように注意してください。
- 手順3の処理結果で「正しく処理できませんでした」と表示 されたときは、カメラを向ける方角を変えて再度実行してく ださい。

ØXE

- バッテリーを入れ直したときは、キャリブレーションをやり 直してください。
- 「アストロトレーサー」がオンになっているときは、「精密 キャリブレーション」になります。撮影場所によって磁場環 境が異なるため、アストロトレーサー撮影を行うときは、撮 影場所で精密キャリブレーションを実行してください。

移動経路を記録する(GPSログ)

- 1 □2メニュー「GPS」を選択、▶を押す 「GPS」画面が表示
- **2** [GPSログ」で▶を押す

「GPSログ」画面が表示

3記録条件を設定

「GPSログ GPSログ	Loe	Ĵ
記録間隔 記録時間	5秒 1時間	V
カードスロット設定	⇒ n	
en s		

記録間隔	5秒/10秒/15秒/30秒/1分か ら選択
記録時間	1~24時間で設定 (「記録間隔」が「5秒」時は1~9 時間、「10秒」時は1~18時間)
カードスロット設定	SD1/SD2を選択

4「GPSログ」で▶を押す

確認画面が表示

GPSがオンになり、GPSログの記録が開始 手順3の画面に戻る

❷注意

パソコンとUSB接続しているときは、GPSログは記録できません。

◎メモ

D2

- GPSログの記録中は、ステータススクリーン/ライブ ビューのGPS測位状態のアイコンの下に「LOG」と表示さ れます。「記録時間」が経過すると「LOG END」と表示さ れ、GPSログが保存されます。
- GPSログの記録を中止するときは、手順5で「終了」を選択 します。GPSログが保存されます。
- GPS を押してGPSをオフにしたときは、記録が一時的に停止 します。(「記録時間」は継続)GPSがオンになったら、記録 を再開します。
- ・ 手順3の画面の「GPSログ」に「LOG END」と表示されてい るときは、保存されていないGPSログがあります。手順5で 「保存」を選択すると、GPSログが保存されます。
- GPSログの記録中は、記録間隔/記録時間を変更することは できません。
- ログファイル(KML形式)は、メモリーカード直下の 「GPSLOG」フォルダー内に、001~999の連番と月日 (例:001_0505)のファイル名で保存されます。保存時に 有効なデータがない場合は、フォルダーとファイルは作成 されません。また、「999_****」のログファイルが保存さ れている場合は、新たなログファイルは保存できません。
- ログファイルはパソコンに転送し、Google Earth などに取り 込んで移動軌跡を表示できます。

3

天体を撮影する(アストロトレーサー) 🖸 2

- 1 露出モードをB、フォーカスモードをMFに設定する
- **2 GP**Sを押す
- 3 □2メニュー「GPS」を選択、▶を押す 「GPS」画面が表示
- 4 「アストロトレーサー」で▶を押す

5 歳を選択、∞を押す



6 「精密キャリブレーション」で▶を押す 「キャリブレーションを実行する」(p.63)参照

7 💷 を2回押す

撮影待機状態に戻る

8 記録条件を設定



ボタン・ダイヤル操作

0	タイマー露光オン/オフ切り替え	
	(タイマー露光オン)露光時間0'10"~5'00" 変更	
FUIL	絞り値変更	

9 ピントを合わせ、シャッターボタン全押し 撮影開始

10 もう一度シャッターボタン全押し 撮影終了

「タイマー露光」を設定した場合は、設定した時間が経過 すると自動的に撮影が終了

❷注意

・ 一部の機能とは組み合わせができません。(p.87)

3

撮

影

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、 ▶1メニュー (p.23)のほかに、再生モードパレットで指定します。 再生モードパレットは、再生モード の1画像表示のときに▼を押すと表示されます。

同》,画像回転 S 0 = - = = --

	項目	機能	参照
■</th <th>回像回転^{*1}</th> <th>画像の回転情報を変更</th> <th>p.69</th>	回像回転 ^{*1}	画像の回転情報を変更	p.69
0 7 5	^デ ジタルフィル ァー ^{*1}	デジタルフィルターで加工	p.73
121 色	シモアレ補正 ^{*1 *2}	色モアレが発生した画像を 補正	p.73
1 J	リサイズ ^{*1 *2}	画像の記録サイズを変更	p.72
□ ŀ	ヽリミング ^{*1}	画像の必要な部分だけを切 り取り	p.72
暍 1	インデックス	複数画像を1枚に貼り付け て保存	p.75
<u>د</u> سە	プロテクト	画像を誤って消去しないよ うに保護	p.82
トス	スライドショウ	画像を連続再生	p.69
	?ニュアルWB ^{き録 *1}	撮影済み画像のホワイトバ ランス設定値をマニュアル ホワイトバランスに登録	p.55
	7ロスプロセス 登録	カスタムイメージのクロス プロセスで撮影した画像の 設定値をお気に入りに登録	p.57
raw R	AW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換し て保存	p.76
왕 重	」 画編集 ^{*4}	動画を分割または不要部分 を消去	p.75
€>】 ₪	国像コピー	SD1とSD2のカード間で画 像をコピー	p.72

	項目	機能	参照
F	Eye-Fi画像 転送 ^{*1 *5}	Eye-Fiカード使用時に、画 像を選択して転送	p.86

- *1 動画表示時は実行不可
- *2 RAW画像表示時は実行不可
- *3 RAW画像保存時のみ実行可能
- *4 動画表示時のみ実行可能
- *5 SD2スロットにEye-Fiカード挿入時のみ実行可能

◎メモ

■1メニュー/再生モードパレットの機能は、再生中のメモリーカードスロットの画像に対して実行されます。1画像表示のときに、
 □□2で再生スロットを切り替えてから■1メニュー/再生モードパレットを表示してください。

再生方法を変更する

複数画像を表示する

画像を複数枚(6/12/20/35/80画像)ずつ表示します。

再生モードで を左に
 回す
 複数画像が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動	
	ページ切り替え	
112	再生スロット切り替え	
(NEO)	複数画像表示 選択画面 12画像表示 ₩2000	
6	選択消去	

2 @を押す

選択画像が1画像表示

選択して消去する

1 「複数画像を表示する」(p.67)の手順1の画面で を押す

2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

▲▼⋖►	選択枠を移動
OK	消去画像を選択/解除
2	範囲指定
tens.	選択画像を1画像表示 🍋 で画像切り替え

画面左上には選択画像数が表示

3 @を押す

消去の確認画面が表示

4 「消去」を選択、∞を押す

◎メモ

- ・ 一度に選択できるのは、500画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。
- 1画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 複数画像の選択方法は、以下の設定時も同様です。
 - 画像コピー (p.72)
 - ・インデックスの画像選択(p.75)
 - RAW展開 (p.76)
 - プロテクト (p.82)
 - Eye-Fi選択転送 (p.86)

フォルダーごとに表示する

 「複数画像を表示する」 (p.67)の手順1の画面で
 ○ を左に回す フォルダーが表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	選択枠を移動
6	フォルダー消去

2 ∞を押す

フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

1 「フォルダーごとに表示する」(p.68)の手順1の画面で消去フォルダーを選択、●を押す 消去の確認画面が表示

2「消去」を選択、四を押す

フォルダーとフォルダー内画像が消去 フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、す べて消去/すべて残すを選択

撮影日ごとに表示する

撮影した日付ごとに画像を表示します。

1 「複数画像を表示する」(p.67)の手順1で (1)を押す 複数画像表示選択画面が表示

2 「撮影日別表示」を選択



撮影日 サムネイル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼	撮影日選択
<₽	撮影日内の画像を選択
ないが右	選択画像を1画像表示
6	選択画像を消去

3 ∞を押す

選択画像が1画像表示

連続して再生する(スライドショウ)

1 再生モードパレットで と を選択 スライドショウ開始

ボタン・ダイヤル操作

OK	一時停止/再開
◀	前の画像を表示
•	次の画像を表示
▼	停止
VIII S	動画の音量調節

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

◎メモ

 スライドショウの表示間隔/画面効果/繰返し再生/動画 自動再生について変更するときは、■1メニュー「スライド ショウ」で設定します。この画面からスライドショウを開始 することもできます。

画像を回転して表示する

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。 ■1メ ニュー「画像の自動回転」がオン(初期設定)に設定されてい るときは、再生時に回転情報に従って表示されます。 回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで ぐを選択 画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で回転方向を選択、 ◎ を押す 回転情報が更新



❷注意

- C4メニュー「22. 回転情報の記録」をオフに設定した状態 で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- 次のときは、回転情報を変更できません。
 - プロテクトされた画像
 - 回転情報タグがない画像
 - ▶1メニュー「画像の自動回転」がオフに設定されている とき
- 動画は回転できません。

AV機器と接続する

HDMI端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブ ビュー画像を表示したり、再生モードで再生ができます。 HDMI端子(タイプD)を備えた市販のHDMIケーブルを用意し てください。

- 1 AV機器とカメラの電源を切る
- 2 カメラの端子カバーを開き、HDMI端子にケーブル を接続する



- 3 ケーブルのもう一方の端子をAV 機器の映像入力端 子に接続する
- **4** AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがHDMIモードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

❷注意

AV 機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。

◎メモ

- ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続 する映像入力端子を選択してください。
- ・出力方式は、AV 機器とカメラが対応する最大サイズが自動 で選択されます。うまく映らない場合は、▲2メニュー「HDMI 出力」で設定を変更してください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。
パソコンと接続する

USBケーブルを使用してパソコンと接続します。 micro B端子を備えた市販のUSBケーブルを用意してください。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 カメラの端子カバーを開き、USB端子にUSBケーブルを接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる

カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

❷注意

- パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてくだい。
- 手順5でパソコンの画面に「K-3 II」ダイアログが表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択して OKボタンをクリックします。

◎メモ

- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」(p.101)を参照してください。
- カメラをパソコンに接続するときの転送モードは、▲2メニュー「USB接続」で設定します。初期設定は「MSC」になっており、変更する必要はありません。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。

USB端子

micro B端子対応のUSBケーブルはUSB 3.0用とUSB 2.0用 があり、本機はどちらでも使用できます。接続する機器の ホストコントローラーがUSB 3.0に対応している場合は、 USB 3.0用ケーブルを使用すると転送速度が速くなります。

画像を加工・編集する

画像をコピーする

SD1とSD2のメモリーカード間で画像をコピーします。

1 コピー元のメモリーカードの画像を1画像表示

- 2 再生モードパレットで ➡■を選択
- 3 画像選択/フォルダー選択を選択、∞を押す
- 4 画像/フォルダーを選択 画像の選択方法は「選択して消去する」(p.67)の手順2を 参照
- 6 コピー先を選択、◎を押す

画像のサイズを変更する

❷注意

- リサイズ/トリミングが実行できるのは、本機で撮影した JPEG画像のみです。
- すでに最小サイズにリサイズ/トリミングされた画像は実行できません。

記録サイズを変更する(リサイズ)

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

- 2 再生モードパレットで E2を選択 記録サイズ選択画面が表示
- 3 **◆▶ で記録サイズを選択、◎ を押す** 元の画像より小さいサイズから 選択可能 保存の確認画面が表示



4 SD1に保存/SD2に保存を選択、◎を押す

画像の一部を切り取る(トリミング)

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで E を選択 トリミング範囲指定画面が表示

3 トリミングする大きさ/範 囲を指定



ボタン・ダイヤル操作

Furt	トリミングサイズ変更	
▲▼◀►	トリミング範囲移動	
INFO	アスペクト比/画像回転設定	
0	トリミング範囲回転(可能時のみ)	

4 🛯 を押す

保存の確認画面が表示

5 SD1に保存/SD2に保存を選択、◎を押す

色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

- 1 1画像表示で対象画像を表示
- 2 再生モードパレットで □ を選択 補正できない画像の場合は、「この画像を処理できません」 と表示
- 3 **→ で強度を選択、 ® を押す** 保存の確認画面が表示



4 SD1に保存/SD2に保存を選択、◎を押す

❷注意

・ 色モアレ補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみ です。



(NEO)を押す

パラメーター設定画面が表示

4

再

生

5 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ パラメーター選択
- ▲▶ 値調整

6 図を押す

手順3の画面に戻る

7 ₫ を押す

保存の確認画面が表示

8 フィルターを重ねる / SD1 に保存 / SD2 に保存を 選択、¹0 を押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィル ターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

❷注意

- デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影した JPEG/RAW画像のみです。
- 撮影時にHDR撮影/Real Resolutionを設定したRAW画像 を、デジタルフィルターで加工することはできません。

◎メモ

フィルターは撮影時に設定したデジタルフィルター(p.58)
 も含めて、20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じ フィルターを適用します。

- 1 1画像表示でデジタルフィルター画像を表示
- 2 再生モードパレットで①を選択

フィルターを再現する」を 選択、©を押す 選択画像に設定済みのフィル ターの履歴が表示



4 パラメーターを確認する場合は (MD)を押す 再度 (MD)を押すと元の画面に戻る



5 @を押す

画像選択画面が表示

6 ▲ でフィルター処理する 画像を選択、◎を押す 同じメモリーカード内のフィル ター処理されていない画像のみ 選択可能 保存の確認画面が表示



7 SD1に保存/SD2に保存を選択、◎を押す

◎メモ

 ・ 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルター を設定する前の画像を呼び出すことができます。

4 再生

複数画像を貼り付ける(インデックス)

複数の画像を1枚に貼り付けた画像を作成します。

- **1 再生モードパレットで
 を選択** インデックス設定画面が表示
- 2「配置」を選択

 Ⅲ(サムネイル) / Ⅲ(スク エア) / Ⅲ(ランダム1) / 徑 (ランダム2) / 図(ランダム3)
 / Ⅲ(バブル) から選択



3 「枚数」を12/24/36から選択

保存画像の数が選択枚数より少ない場合、「配置」が**翻**の ときは空欄、それ以外は画像が重複して表示

4「背景」を白/黒から選択

5 [選択] で画像の選択方法を選択

	自動選択	全画像から自動的に選択	
□₽Ŀ	画像選択	1画像ずつ選択 続けて「画像選択」を指定	
₽ ₽	フォルダー 選択	指定したフォルダーから自動選択 続けて「フォルダー選択」を指定	

6「画像作成」を選択、 🗅 を押す

インデックス画像が表示

7 SD1に保存 / SD2に保存 / 再シャッフルを選択、◎ を押す

「再シャッフル」は、画像を選び直して新たなインデック ス画像を作成

◎メモ

 インデックス画像は、「INDX****.JPG」というファイル名 で保存されます。

動画を編集する

1 1画像表示で対象動画を表示

2 再生モードパレットでぷを選択 動画編集画面が表示

3 分割箇所を指定

画面上部に分割位置の先頭コマ が表示 4箇所(5分割)まで指定可能



4 再 年

ボタン・ダイヤル操作

	再生/一時停止	
•	(一時停止中)コマ送り	
▶長押し	早送り再生	
•	(一時停止中)コマ戻し	
◀長押し	早戻し再生	
E	音量調節	
INFO	分割位置指定/解除	

消去しない場合は、手順7へ

4 🛙を押す

消去指定画面が表示

5 **→ で選択枠を移動、◎を押** す 消去範囲を選択(複数選択可能) 再度 ◎を押すと、選択解除



6 💷 を押す

手順3の画面に戻る

7 ∞を押す

保存の確認画面が表示

8 SD1に保存/SD2に保存を選択、∞を押す

◎メモ

分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向(後ろから前)に順に指定します。途中に分割位置を追加/解除はできません。

RAW展開

RAW画像をJPEG形式に変換して保存します。

1 再生モードパレットで™を選択 処理単位の選択画面が表示

2 処理単位を選択、◎を押す

1画像選択	1枚のみ展開
複数画像選 択	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー 選択	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同 一設定で展開

「1画像選択」は手順6へ

画像選択/フォルダー選択画面が表示

3 画像/フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.67)の手順2を 参照

4 💵 を押す

パラメーター設定方法の選択画面が表示

5 パラメーター設定方法を選 択、^図を押す



撮影時の設定で	記録設定(記録形式/JPEG記録サイ
展開	ズ/JPEG画質)を設定
設定を変更して 展開	記録設定(記録形式/アスペクト比/ JPEG記録サイズ/JPEG画質/色空 間)/レンズ補正(ディストーション 補正/周辺光量補正/倍率色収差補正 /回折補正/フリンジ補正)/ホワイ トバランス/カスタムイメージ/デジ タルフィルター/HDR撮影/Real Resolution/増減感/高感度NR/シャ ドー補正を設定

6 パラメーターを設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	パラメーター選択	
<►	値変更	
	(1画像選択時)画像切り替え	

記録設定/レンズ補正は▶を押してから▲▼で項目選択 ホワイトバランス/カスタムイメージ/デジタルフィル ターは、▶で設定画面が表示

7 ∞を押す

保存の確認画面が表示

8 SD1に保存/SD2に保存を選択、®を押す 「1画像選択」の場合は継続/終了を選択、®を押す

❷注意

・ RAW展開できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。

◎メモ

- ・ 手順2で複数画像選択/フォルダー選択を選択した場合は、 新たな番号のフォルダーが作成され、JPEG画像が保存され ます。
- ・設定項目のデジタルフィルター/HDR撮影/Real Resolutionは、撮影時の設定によっていずれかの設定ができます。▲1メニュー「HDR撮影」または「Real Resolution」を設定して撮影したRAW画像の場合は、展開時にそれぞれの詳細設定ができます。それ以外の画像の場合は、「デジタルフィルター」の詳細設定ができます。
- ・付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、 パソコンでRAW展開ができます。



ØXE

• 手順2で「回転方向設定」を選択すると、 したときの値の変化を逆方向に変更することができます。

ボタンの動作を設定する

- / ▲ / 電源レバー 心の動作を設定します。
- ▲4メニュー 「ボタンカスタマイズ」を選択、▶を 捆す

「ボタンカスタマイズ」画面が表示

ボタンを選択、▶を押す 各ボタンの設定画面が表示

「ボタンカスタマイズ		٦
RAW/Fxボタン	RAW	D
AFボタン		
ブレビューレバー	Ô	

3 ▶を押し、▲▼で割り当てる機能を選択 それぞれ以下の機能が割り当て可能

	設定	機能	参照	
	ワンタッチ RAW+	一時的に記録形式 を変更	p.79	
	露出ブラケット	露出ブラケットを 設定	p.50	
RAW/Fy	光学プレビュー	光学プレビューを 作動	n 47	
ボタン	デジタルプレ ビュー	デジタルプレ ビューを作動	p.+ <i>1</i>	
	Shake Reduction	Shake Reduction/ Movie SRのオン/ オフ切り替え	_	
	表示パネルの照 明	表示パネルの照明 のオン/オフ	p.17	

	設定	機能	参照
	AF作動1	▲を押すとオート フォーカスが作動	
AFボタン	AF作動2		p.44
	AFキャンセル	●を押している間、 シャッターボタン 半押し無効	
プレビュー	光学プレビュー	光学プレビューを 作動	n 47
レバー	デジタルプレ ビュー	デジタルプレ ビューを作動	p.47

4 ∞を押す

5 @ を押す

手順2の画面に戻る 手順2~5を繰り返す

6 💷 を2回押す

❷注意

 C3メニュー「21. 表示パネルの照明」がオフに設定されているときは、「RAW/Fxボタン」の「表示パネルの照明」は 選択できません。

ワンタッチRAW+を設定する

「ボタンの動作を設定する」(p.78)の手順3で 「RAW/Fxボタン」を「ワンタッチRAW+」に設定

- 2 「撮影毎に解除」 の 🗹 / 🗆 を切り替え

3 ∰ を押したときの記録形 式を選択

左が「記録形式」の設定、右が ເプ を押したときの記録形式



❷注意

●1メニュー「カードスロット設定」が「RAW / JPEG分離」
 に設定されているときは、ワンタッチRAW+の操作は無効です。(p.37)

5 設定

よく使う設定値を登録する

Å4

モードダイヤル**U1/U2/U3**に、カメラの設定をまとめて登録して利用することができます。 以下の設定が登録できます。

露出モード(■以外)	ドライブモード
ISO感度	ホワイトバランス
露出補正	カスタムイメージ
測光方式	▲1~4メニューの設定
測距点	(一部を除く)
フラッシュモード	C 1~4メニューの設定

設定を登録する

5

設

定

- 1 登録する露出モードと機能をすべて設定する
- 2 △4メニュー「USERモード登録」を選択、▶を押す 「USERモード登録」画面が表示
- 3 「設定登録」で▶を押す 「設定登録」画面が表示



- 4 USER1/USER2/USER3を選択、▶を押す
- 5 [登録] を選択、 図を押す 手順3の画面に戻る

❷注意

モードダイヤルが■になっているときは、「USERモード登録」は選択できません。

◎メモ

- ・ 登録した設定内容は、手順3の画面で「登録済み内容確認」
 を選択すると確認できます。
- 設定を消去する場合は、手順3の画面で「USERモードリセット」を選択します。

名前を登録する

登録した設定に名前を付けることができます。

- 1 「設定を登録する」(p.80)の手順3で「名称登録」 を選択、▶を押す 「名称登録」画面が表示
- 2 USER1/USER2/USER3を選択、▶を押す 文字を入力する画面が表示
- 3 文字を入力 半角18文字以内で英数字・記号 を入力

文字選択カーソル



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼∢►	文字選択カーソルを移動
Ser. 18	文字入力カーソルを移動
Ø	大文字/小文字切り替え
OK	文字選択カーソルが選択している文字 を文字入力カーソルの位置に入力
6	文字入力カーソル位置の文字を消去

4 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、◎を押す

「名称登録」画面に戻る

USERモードを利用する

1 モードダイヤルをU1/U2/U3に合わせる USERモードのガイドが表示(約 30秒間) D USERI ▲▼で登録内容の確認が可能 ABCDEFGHIJKLMNOPOR 2 必要に応じて設定を変更 露出モードを変更する場合は ▲1メニュー「露出モード」で変 Tv スロット設定 更 TAV M B アジタルフィルタ HDR撮影 Real Resolution

◎メモ

手順2で変更した設定は、USERモードに登録されません。電源を切ると登録済みの設定に戻ります。設定を変更する場合は登録をやり直してください。

目的地の日時を表示する

「初期設定」(p.31) で設定した日時は現在地の日時として設定 され、画像の撮影日時に反映されます。

現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像 モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録でき ます。

1 、1メニュー「ワールドタイム」を選択

「ワールドタイム」画面が表示

2 「時刻切替」で表示する時刻 を選択 ☆(現在地) / ナ(目的地)

」ワールドタイム ■****	l
一时刻切谷	
→目的地	DST
ニューヨーク	21:00
▲現在地	
東京	10:00
(III) (III)	

3 「→目的地」を選択、▶を押す 「+日的地」 画面が表示

∢▶ で都市を選択 ^{●●}で地図表示切り替え



5「夏時間」を選択、◀▶で□/☑を設定

6 ∞を押す

Δ

國決定

手順2の画面に戻る

7 💷 を2回押す

5

設

定

◎メモ

- 現在地/目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」(p.100) を参照してください。
- ・ 手順3で「☆現在地」を選択すると、現在地の都市/夏時間 が変更できます。
- ・「時刻切替」をかに設定すると、コントロールパネルにかと 目的地の日時が表示されます。

カメラに保存する設定を選択する

D4

フラッシュ光量補正
デジタルフィルター
HDR撮影
Real Resolution
構図微調整範囲
再生情報表示

◎メモ

◆3メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする (プロテクト)

画像を誤って消去しないようにプロテクト(保護)します。

❷注意

プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。

1 再生モードパレットでのを選択

処理単位の選択画面が表示

2 画像選択/フォルダー選択 を選択、¹のを押す



3 画像/フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」(p.67)の手順2を 参照 「フォルダー選択」は、手順5へ

4 💵 を押す

確認画面が表示

5「プロテクト」を選択、◎を押す

◎メモ

メモリーカードの画像をまとめてプロテクトする場合は、
 1メニュー「全画像プロテクト」を選択します。

フォルダー/ファイルの設定

****2

フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が 保存されます。フォルダー名には、100~999の連番と5文字の 文字列が付きます。

フォルダー名を変更することができます。

- **1 、2メニュー「フォルダー名」を選択、▶を押す** 「フォルダー名」画面が表示
- 2 フォルダー名を選択、◎を押 『 す



日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が4桁で 付く 月日は「日時設定」の表示スタイルに準じる 例)101_0125・・・1月25日に撮影
PENTX	フォルダー番号の後ろに「PENTX」の文字列 が付く 文字列を変更可能 例)101PENTX

「日付」を選択した場合、または「PENTX」の文字列を変更しない場合は、手順6へ

3 ▼を押してから▶を押す

文字を入力する画面が表示

4 文字を入力 半角5文字で英数字を入力



文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀►	文字選択カーソルを移動
Frank	文字入力カーソルを移動
OK	文字選択カーソルが選択している文字 を文字入力カーソルの位置に入力
0	「PENTX」に戻す

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確 定」まで移動、 ©を押す 手順2の画面に戻る

6 💷 を2回押す

◎メモ

- フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成 されます。
- 1つのフォルダーには、最大500枚(Eye-Fiカードは最大100枚)の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただし、露出ブラケット撮影では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。

❷注意

 フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダーが作成 済みのときに、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成な どを行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が 9999に達したときも、撮影ができなくなります。

フォルダー新規作成

▲2メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

❷注意

複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

◎メモ

- SD1 / SD2の両方にメモリーカードがセットされていた場合は、両方のメモリーカードに新しいフォルダーが作成されます。
- ・ 以下の場合は、自動的に新しいフォルダーが作成されます。
 - ・ ドライブモード「インターバル撮影」(p.52)
- ドライブモード「インターバル合成」で「途中経過保存」 がオンのとき(p.53)
- 再生モードパレット「RAW 展開」の複数画像選択/フォ ルダー選択(p.76)

ファイル名

ファイル名の先頭には、**C3**メニュー「20. 色空間」の設定に よって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMGP****.JPG
AdobeRGB	_IMG****.JPG

先頭の4文字を任意の文字列に変更することができます。

2 △ / 詹を選択、 ▶ を押す 文字を入力する画面が表示



3 文字を入力

半角4文字以内で英数字を入力 入力方法は「フォルダー名」(p.83)の手順4~5を参照

4 💷 を2回押す

◎メモ

- ・ 色空間が「AdobeRGB」の場合はファイル名の先頭は「_」 となり、指定した文字列の先頭3文字がファイル名になりま す。
- 動画は色空間の設定にかかわらず「IMGP****.MOV」、または指定した文字列が付いたファイル名になります。

5 設定

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後 に0001~9999の連番が付きます。 フォルダーが新しくなったときに ファイル番号を継続するかどうかを ~2メニュー「ファイルNo.」の「連 番設定」で設定できます。



☑	フォルダーが新しくなっても画像のファイル番号を継 続
	フォルダーが新しくなるたびに、画像のファイル番号 を0001から開始
r	

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセッ トされます。

◎メモ

ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。

著作権情報の設定

画像のExifデータに記録する撮影者・著作権者の情報を設定します。

1 、2メニュー「著作権情報」を選択、▶を押す 「著作権情報」画面が表示

2 ▲▶ で「著作権情報の添付」



□ 著作権情報を記録しない☑ 著作権情報を記録する

3 撮影者名/著作権者名を選択、▶を押す 文字を入力する画面が表示

4 文字を入力

を指定

半角32文字以内で英数字・記号を入力 入力方法は「名前を登録する」(p.80)の手順3~4を参照

5 💷 を2回押す

◎メモ

Exif情報は、付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」などで確認できます。

****2

通信カードを利用する



本機は、無線LAN(Wi-Fi通信)機能を内蔵したメモリーカード「Eye-Fiカード」または本機対応の「FLUカード」が使用できます。これらを使用すると、無線LAN経由でパソコンなどに画像が転送できます。

Eye-Fiカード/FLUカード使用時の動作を設定します。

1 、 3メニュー「通信カード」を選択、▶を押す 「通信カード」画面が表示

2「動作モード」を選択

挿入しているカードの種類に応 じて設定項目が表示

「ほうふたちード	_
動作モード (51.17
オートリサイズ 通信情報	Eye Fi Stiller DFF
バージョン情報	いたい
画像を自動的に転送し	ます
(राजपी) सन् २४	们油中

Eye-Fiカード

AUTO	画像を撮影または新規保存するたびに自動的 に転送 動画は2GB以下の場合のみ転送
SELECT	転送する画像/フォルダーを再生モードパ レットの「Eye-Fi画像転送」で選択可能 転送できるのはJPEG/RAWのみ
OFF	通信機能を停止

FLUカード

ON	通信機能を使用
OFF	通信機能を停止

3 「オートリサイズ」を設定

☑ にすると、Eye-Fiカード/FLUカードに記録するJPEG 画像を図 で保存

4 💷 を2回押す

❷注意

- Eye-Fiカード/FLUカードは、SD2スロットに挿入してください。SD1スロットに挿入すると、無線LAN機能が使用できません。また、Eye-Fiカード/FLUカードがSD2スロットに挿入されていないときは、「通信カード」の設定はできません。
- カードを接続する無線LANアクセスポイントは、パソコンで 設定してください
- Eye-Fiカードの仕様と設定によって、RAWと動画が転送できるかどうかが異なります。GPSログファイルは転送できません。
- バッテリー残量が少ないと、転送できない場合があります。
- 大量の画像を転送する場合は、時間がかかることがあります。また、カメラ内が高温になると、電源が切れることがあります。
- Eye-Fiカードに関する注意事項は、「Eye-Fiカードについて」 (p.108)を参照してください。

◎メモ

- 本機対応のFLUカードを使用すると、スマートフォンから本 機の操作ができます。詳細と詳しい使用方法は、FLUカード に付属の使用説明書を参照してください。
- Eye-Fiカード使用時は、1フォルダーに100枚ずつ保存されます。 RAW+の画像は2ファイルで1枚とみなされます。
- 手順2の画面の「通信情報」で無線LANの情報が確認できます。「バージョン情報」でカードのバージョン情報などが確認できます。
- ・ 手順2の画面の「通信設定のリセット」を選択すると、「動作 モード」が初期状態に戻ります。

5

特殊機能の組み合わせ制限

★:組み合わせ不可 △:制限付きで組み合わせ可

		デジタル フィルター	HDR撮影	Real Resolution	ディストー ション補正	アストロ トレーサー	構図微調整	ローパス セレクター	バッファ RAW保存
フラッシュ			×	×					
	連続撮影		×	×		×		∆*2	×
ド	露出ブラケット		×	×		×		∆*²	
ライ	ミラーアップ撮影		×				×	∆* 2	
ブ	多重露出	×	×	×	×	×		∆*2	
E I	インターバル撮影	∆* 1	∆* 1	×		×	×	∆*2	
ド	インターバル合成	×	×	×	×	×	×	∆*2	
	インターバル動画	∆*1	∆*1	×		×	×	×	×
HDR撮影		×		×		×		×	
Real Resolution		×	×			×		×	
C	コーパスセレクター		×	×					

*1 「撮影間隔」の最短値に制限あり

*2 ブラケット不可

各種レンズ使用時の機能

DA/DAL/FAJレンズ、または絞りA位置があるレンズを絞 りA位置で使用すると、本機の露出モードがすべて利用できま す。

これ以外のレンズや絞りを A 位置以外で使用する場合は、以下 の制限があります。

レンズグループ [マウント名称]	DA DA L D FA	FA J FA ^{*6}	F *6	A	M P
機能	[Kaf] [Kaf2] [Kaf3]	[Kaf] [Kaf2]	[Kaf]	[KA]	[K]
オートフォーカス (レンズ単体使用) (AFアダプター 1.7×使用) ^{*1}	0	0	0	-	-
マニュアルフォーカス (フォーカスインジケーター表 示の利用) *2 (マット面の利用)	0	0	0	0	0
クイックシフトフォーカス	△*4	×	×	×	×
測距点「オート」	0	0	0	△*8	×
測光方式「分割」	0	0	0	0	×
P/Sv/Tv/Av/TA v モード	0	0	0	0	*9
Mt-k	0	0	0	0	
P-TTLオートフラッシュ 撮影 ^{*3}	0	0	0	0	×
パワーズーム	-	×	-	-	-
レンズ焦点距離の自動取得	0	0	0	×	×
レンズ補正	○*5	× ^{∗7}	×	×	×

O:使用可能 △:機能制限あり ★:使用不可

- *1 レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズでA位置での み使用可能
- *2 レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能
- *3 AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ II / AF201FG / AF200FG / AF160FC使用時

- *4 対応レンズのみ可能
- *5 DA FISH EYE 10-17mmは、ディストーション補正/周辺光量補正無効
- *6 FA SOFT 28mm F2.8 / FA SOFT 85mm F2.8 / F SOFT 85mm F2.8 では、**C**4メニュー「26. 絞りリングの使用」で「許可」を設定した 上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能
- *7 FA 31mm F1.8 Limited / FA 43mm F1.9 Limited / FA 77mm F1.8 Limitedのみ可能
- *8 「スポット」固定
- *9 絞りは開放のAv(絞りリング無効)

❷注意

- ・ 絞り A 位置があるレンズを絞り A 位置以外で使用したり、A 位置のないレンズやオート接写リング、オートベローズなど のアクセサリーを取り付けた場合、C4メニュー「26. 絞り リングの使用」で「許可」を設定しない限り、カメラは作動 しません。「絞りリングの使用を許可する」(p.89)を参照し てください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。

レンズ名称とマウント名称

DAレンズのうちモーターを搭載したレンズと、FAズームレンズのうちパワーズームが可能なレンズのマウントはKaF2 マウント(AFカプラーのないレンズはKaF3マウント)です。 FAの単焦点レンズ(ズームでないレンズ)と、モーターを 搭載していないDA/DALレンズ、DFA/FAJ/Fレンズ のマウントはKaFマウントです。 詳しくはレンズの使用説明書を参照してください。

絞りリングの使用を許可する

C4

DFA/FA/F/Aレンズで絞りをA位置以外にしたり、A位 置がないレンズでも、撮影ができるようにします。

C4メニュー「26. 絞りリングの使用」

で「許可」を選択します。

26. 絞りリングの使用 . 1 禁止
◆2 許可
レンズの絞りリングの位置が
A以外のときも 撮影が可能です
□□□取消 25.~1. ◎決定

この場合、次の制約があります。

使用レンズ	出 ビ 闘 ド	制約		
D FA/FA/F/A /M(レンズ単体、 オート接写リングK などの自動絞り機 能のアクセサリー と組み合わせた場 合)	Av	絞りは開放固定 レンズの開放絞りに連動して シャッター速度は変化するが、 露出の誤差が生じることがあ る		
D FA/FA/F/A /M/S (接写リン グKなどの絞り込み 機能のアクセサ リーと組み合わせ た場合)	Av	設定した絞り値で撮影される が、露出の誤差が生じること		
レフレックスレン ズなどの手動絞り のレンズ(レンズ 単体)	Av	ມາພລ		
FA SOFT 28mm/ FA SOFT 85mm/ F SOFT 85mm (レンズ単体)	Av	手動絞りの範囲のみ、設定し た絞り値で撮影		

●メモ ・ 絞りを Δ 位置以外

- ・ 絞りをA位置以外にセットした場合、M/B/Xモード以外はモードダイヤルの位置にかかわらず、Avモードで動作します。
- ステータススクリーン/ファインダー内/表示パネル/ラ イブビューの絞り値は「F--」と表示されます。

絞りA位置以外で露出を測る方法

絞りを▲位置以外にしたときは、以下の方法で適正露出が 得られます。

- 1 モードダイヤルを▲に合わせる
- 2 レンズの絞りリングを設定したい絞り値に合わせる
- 3 ●を押す
 - シャッター速度が適正値に設定
- 4 適正露出が得られないときは、ISO感度を調整

レンズ焦点距離を入力する

Shake Reductionは、レンズの焦点距離などの情報を取得して 動作します。そのため、焦点距離が自動取得できないレンズを 使用する場合は、手動で設定する必要があります。

- 1 C4メニュー「26. 絞りリングの使用」を「許可」に 設定する
- 2 カメラの電源を切る
- 3 カメラにレンズを装着し、電源を入れる 「焦点距離入力」画面が表示
- 4 ▲▼で焦点距離を選択

◆を押すと一覧から選択 ズームレンズ使用時は、ズームの 焦点距離を設定



D3

5 @を押す

撮影待機状態に戻る

◎メモ

・レンズ焦点距離は、▲3メニュー「焦点距離入力」で変更できます。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などができます。

○:使用可能 △:機能制限あり ×:使用不可

対応フラッシュ カメラの機能	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF201FG AF200FG AF160FC
赤目軽減機能	0	0
フラッシュ自動発光	O ^{*1}	⊖ ^{*1}
同調速度への自動切り替え	0	0
P/Tv モードで絞り値自動セット	○ *1	○ *1
P-TTLオートフラッシュ撮影	○ *1	○ *1
スローシンクロ撮影	0	0
フラッシュ光量補正	0	0
外付けフラッシュの AF 補助光使用	⊖* 2	×
後幕シンクロ撮影 ^{*3}	0	△ ^{*4}
光量比制御モード	○*5	∆*6
スレーブ機能	○*5	×
ハイスピードシンクロ撮影	0	×
ワイヤレス撮影	○*5	×

*1 DA/DAL/DFA/FAJ/FA/F/Aレンズを使用した場合のみ可 能

- *2 AF540FGZ/AF360FGZのAF補助投光は不可
- *3 シャッター速度は1/90秒以下
- *4 AF200FG/AF160FCは不可
- *5 AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ II を複数台組 み合わせることが必要

*6 AF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/AF360FGZ IIと組み合わ せた場合のみ可能

❷注意

- 極性が逆(ホットシュー中央の接点がマイナス)のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリーを 組み合わせると誤作動の原因になるので、使用しないでくだ さい。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合 があります。

◎メモ

- AF540FGZ / AF540FGZ II / AF360FGZ / AF360FGZ IIは、 1/180秒より速いシャッター速度のときにもフラッシュを発 光して撮影する「ハイスピードシンクロ撮影」ができます。 カメラの露出モードをTv / TAv / Mに設定します。
- 外付けフラッシュAF540FGZ/AF540FGZ II/AF360FGZ/ AF360FGZ IIの組み合わせで、フラッシュ同士をコードで接続せずにP-TTL撮影を行う「ワイヤレスモード」が利用できます。その場合のカメラのチャンネルは、外付けフラッシュで設定します。
- Xシンクロソケットを利用すると、 シンクロコードを使用してフラッシュ撮影ができます。シンクロ コードを接続するときは、本機に 取り付けられているシンクロソケット2Pキャップを外します。



困ったときは

◎メモ

 ・静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないこと があります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみ てください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
	バッテリーが正し く入っていない	バッテリーの挿入方向を確認 してください。
电凉か入りない	バッテリーの残量 がない	バッテリーを充電してくださ い。
	メモリーカードに 空きがない	空き容量のあるメモリーカー ドをセットするか、不要な画 像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってくだ さい。
シャッターがきれ ない	レンズの絞りが A 位置以外になって いる	絞りを A 位置にするか、 C 4メ ニュー「26. 絞りリングの使 用」で「許可」を選択してく ださい。(p.89)
	AFモードが AF.S / AF.A でピント が合っていない	フォーカスモードを MF にし てピントを合わせて撮影して ください。
ピントが合わない	オートフォーカス が苦手なものを被 写体にしている	コントラストが低いもの(青 空や白壁など)、暗いもの、細 かい模様のもの、速く動いて いるもの、窓やネット越しの 風景などは、AFが苦手なもの です。 撮りたいものと同じ距離にあ る別のものにフォーカスロッ クしてから、撮りたい構図で 撮影します。または、MFを 使用してください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してく ださい。
フォーカスロック できない	ライブビューの AFモードが ■ に なっている	「コントラストAF」を(図)/ 翻 / ● / 回 に設定してくださ い。(p.46)

現象	原因	対処方法
フラッシュが発光 しない	フラッシュモード が∲∕∕∲になっ ている	フラッシュモードが 44/46 になっているときは、被写体 が明るいと発光しません。 フラッシュモードを変更して ください。(p.43)
パソコンと接続し ても認識されない	転送モードが 「PTP」になって いる	▲2 メニュー「USB接続」を 「MSC」に設定してください。
画像にゴミが写り 込む	CMOSセンサーに 汚れやほこりが付 着している	▲4メニュー「ダストリムーバ ル」を実行してください。電 源ON/OFF時に毎回作動させ ることもできます。 それでも解消しない場合は、 「センサーのクリーニング」 (p.93)を参照してください。
撮影画像の表示 に、欠けや常時点 灯する箇所がある	CMOSセンサーの 画素に欠けがある	▲4メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。 補完処理は30秒ほど時間がか かるので、十分に充電した バッテリーを使用してください。

センサーのクリーニング

ほこりを検知する(ダストアラート)

CMOSセンサーに付着したほこりを検知し、ほこりの位置を視 覚的に表示します。

カメラを以下の状態にしてください。

- DA/DAL/FAJレンズ、または絞りリングにA位置がある DFA/FA/Fレンズを取り付ける(絞りリングがあるレン ズはA位置に合わせる)
- 静止画/動画切替レバーを ☎に合わせる
- フォーカスモード切替レバーをAFに合わせる

7 、4メニュー「ダストアラート」を選択、▶を押す 「ダストアラート」画面が表示

- 2 均一で明るいもの(白い壁など)をファインダー いっぱいに入れ、シャッターボタン全押し 画像処理の後、ダストアラート画像が表示 「正しく処理できませんでした」と表示されたときは、 を押して再度撮影
- 3 画像に写ったほこりを確認する

ジのマ全画面表示

4 四を押す

ダストアラート画像が保存され、 44メニューに戻る

◎メモ

ダストアラート画像は、SD1スロットのメモリーカードに最新の1枚のみ約30分間保存されています。その間に「センサークリーニング」を実行すると、クリーニング時に確認できます。SD1スロットが無効の場合は、画像は保存されません。また、再生モードで画像を確認することはできません。

ブロアーでほこりを落とす

ミラーをアップし、ブロアーを使ってクリーニングします。

1 カメラの電源を切り、レンズを取り外す

- 2 カメラの電源を入れる
- 3 、4メニュー「センサークリーニング」を選択、▶ を押す 「センサークリーニング」画面が表示
- 4 「ミラーアップ」を選択、◎を押す ミラーがアップ ダストアラート画像が保存されている場合は、画像が表示

5 ブロアーを使用してクリーニングする

6 電源を切る ミラーが戻る

❷注意

- スプレー式またはブラシ付きのブロアーは使用しないでく ださい。CMOSセンサーが傷つくことがあります。また、 CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。
- ブロアー先端をレンズマウント面より中に入れないでください。万一電源が切れた場合、シャッター機構部やCMOSセンサー部、ミラー部が破損するおそれがあります。また、ゴミが外に落ちるよう、レンズマウント面を下に向けてブロアーを使用してください。
- バッテリー容量が少ない場合、「電池容量がたりないためク リーニングを行えません」と画像モニターに表示されます。
 容量が十分に残っているバッテリーを使用してください。ク リーニングの途中でバッテリー容量が少なくなると警告音 が鳴ります。その場合は、すぐにクリーニングを中止してく ださい。

◎メモ

- CMOSセンサーは精密部品ですので、清掃はできるだけ当社の修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。
- クリーニングは、別売のイメージセンサークリーニングキット O-ICK1も使用できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量が ありません	メモリーカードの容量いっぱいに画像が 保存されていて、これ以上画像が保存で きません。新しいメモリーカードをセッ トするか、不要な画像を消去してくださ い。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存 されていません
この画像を 表示できません	本機で再生できない画像を再生しようと しています。パソコンでは表示できる場 合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影/再生と もにできません。パソコンでは表示でき る場合があります。
	期化に失敗しました。 のを押してください。
カードがフォーマット されていません	フォーマットされていないメモリーカー ドがセットされているか、他の機器で使 用したメモリーカードがセットされてい ます。本機でフォーマットしてから使用 してください。
カードが ロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされ たメモリーカードがセットされていま す。(p.108)
この画像を拡大表示 できません	拡大できない画像を拡大表示しようとし ています。
 この画像は プロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクト されています。画像のプロテクトを解除 してください。(p.82)

エラーメッセージ	内容
 電池容量がたりないため ピクセルマッピングを 行えません 電池容量がたりないため 	ビクセルマッピング/センサークリーニ ング/アップデート実行時にバッテリー
クリーニングを 行えません	容量か足りない場合に表示されます。十 分に充電したバッテリーを使用してくだ さい。
電池容量がたりないため アップデートを行えません	
ファイルが壊れているため アップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため 実行できません。アップデートファイル を再度ダウンロードしてください。
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No. (999) が使用さ れているため、画像が保存できません。 新しいメモリーカードをセットするか、 メモリーカードをフォーマットしてくだ さい。
画像を保存 できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像 が保存できません。
正しく処理できませんでした	処理が失敗しました。もう一度やり直し てください。
これ以上 選択できません	以下の機能で、上限枚数以上を選択しよ うとしています。 ・ 選択消去 ・ 画像コピー ・ インデックス ・ RAW展開 ・ ブロテクト ・ Eye-Fi画像選択
処理できる 画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、 またはRAW展開できる画像がありませ ん。
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してリサ イズ/トリミング/デジタルフィルター /動画編集/RAW展開/マニュアルWB 登録を実行した場合、または最小サイズ の画像に対してリサイズ/トリミングを 実行した場合に表示されます。
画像の作成に 失敗しました	インデックスで画像の作成に失敗しまし た。

エラーメッセージ	内容
このモードでは 設定することができません	機能に制限がある露出モードのときに、 設定できない機能を設定しようとしてい ます。
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が 切れます。しばらくしてから電源を入れ てください。
Eye-F i通信設定を セレクトにしてください	▲3メニュー「通信カード」の「動作 モード」がSELECTに設定されていない ため、選択転送ができません。(p.86)
転送できる画像がありません	Eye-Fiカード使用時に転送可能な画像が ありません。
このフォルダーは 選択できません	選択したフォルダー内に規定以上のファ イル数があるため、選択ができません。
撮影できる状態まで レンズのズームリングを まわしてください	沈胴式レンズを装着しているときに、レ ンズが収納されているため撮影ができま せん。(p.35)

付録

主な仕様

型式

型式	TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KaF2マウント(AFカプ ラー・情報接点・電源接点付き)
使用レンズ	KAF3、KAF2(パワーズーム対応)、KAF、KAマウン トレンズ

撮像部

撮像素子	種類:原色フィルター/CMOS、サイズ:23.5× 15.6mm
有効画素数	約2435万画素
総画素数	約2471万画素
ダストリムーバル	超音波振動による撮像素子クリーニング機能「DR Ⅱ」、ダストアラート機能付き
感度(標準出力感 度)	ISO AUTO / 100~51200(1 EVステップ、1/2 EV ステップまたは1/3 EVステップ)
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式(SR:Shake Reduction)
ローパスセレク ター	SRユニットを用いたモアレ低減機能、OFF/ Type1/Type2/ブラケット

記録形式

画像ファイル形式	RAW(PEF/DNG)、JPEG(Exif 2.30準拠)、 DCF 2.0準拠
記録サイズ (画素数)	JPEG: [_ (24M:6016×4000), [M] (14M: 4608×3072), [S] (6M:3072×2048), [XS] (2M:1920×1280) RAW: [_ (24M:6016×4000)
画質	RAW(14bit): PEF、DNG JPEG: ★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイ ン)、★ (エコノミー) RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB
記録媒体	SD、SDHC、SDXCメモリーカード、Eye-Fiカー ド、FLUカード(SDHC、SDXCメモリーカードは UHS-I規格に対応)
デュアルスロット	順次、複製、RAW/JPEG分離、画像コピー
記録フォルダー	フォルダー名設定:日付(100_1018、 101_1019)、任意(初期値はPENTX)

記録ファイル ファイル名設定可能(初期値はIMGP****) ファイルNo.設定:連番設定、リセット

ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約0.95×(50mm F1.4.∞)
アイレリーフ長	約20.5mm(見口枠より)、約22.3mm(レンズ中心 より)
視度調節機能	約-2.5~+1.5m ⁻¹
フォーカシング スクリーン	ナチュラルブライトマットIII、交換式

ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
フォーカス	コントラスト検出式(顔検出、追尾、多点オート、 セレクト、スポット) フォーカスアシスト(ON/OFF)
表示	視野率約100%、電子水準器表示、拡大表示(最大 10倍まで)、グリッド表示(16分割表示、黄金分割 表示、スケール表示)、ヒストグラム表示、白とび 警告、構図微調整

画像モニター

形式	TFTカラー LCD、広視野角タイプ、ARコート、エ アギャップレス強化ガラス
イメージサイズ	3.2型 (アスペクト比3:2)
ドット数	約103.7万ドット
調整	明るさ、彩度、色調整

ホワイトバランス

方式	撮像素子および光源検知センサーによる併用方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオートWB、太陽光、 日陰、曇天、蛍光灯 (D: 昼光色、N: 昼白色、 W: 白色、L:電球色)、白熱灯、フラッシュ、 CTE、マニュアル(3種類登録可)、色温度設定 (3種類登録可)、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で ±7 ステップで調整可

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX 11、27点測距(中央25点はクロスタイプ)
輝度範囲	EV -3~18(ISO 100、常温)
AFモード	シングルAF(AF.S)、コンティニュアスAF (AF.C)、自動選択AF(AF.A)
AFエリア	スポット、セレクト、セレクトエリア拡大(S、 M、L)、ゾーンセレクト、27点オート
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

露出制御

測光方式	8.6万画素RGBセンサーによるTTL開放測光、分割 測光/中央重点/スポット
露出範囲	EV -3~20 (ISO 100 · 50mm F1.4)
露出モード	グリーンモード、プログラム、感度優先、シャッ ター優先、絞り優先、シャッター&絞り優先、マ ニュアル、バルブ、フラッシュ同調速度、USER1、 USER2、USER3
露出補正	±5 EV(1/2 EV ステップ 、1/3 EVステップ選択可 能)
AEロック	ボタン式(タイマー式:カスタム設定で設定した 測光作動時間の2倍)、シャッターボタン半押しで 継続

シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター *リアル・レゾリューション・システム時には電子 シャッターを使用
シャッタースピー ド	オート:1/8000秒~30秒、マニュアル:1/8000秒 ~30秒(1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ)、 バルブ

ドライブ

ドライブモード	[静止画] 1コマ、連続(H、M、L)、セルフタイマー(12秒 後、2秒後)、リモコン(即、3秒後、連続)、露出 ブラケット(2コマ/3コマ/5コマ、セルフタイ マー/リモコンとの併用可能)、ミラーアップ(リ モコンとの併用可能)、多重露出(連続/セルフタ イマー/リモコンとの併用可能)、インターバル撮 影、インターバル合成 [動画]
	リモコン、インターバル動画

連続撮影	最高約8.3 コマ/秒、JPEG(□・★★★・連続H): 60 コマまで、RAW:23 コマまで 最高約4.5 コマ/秒、JPEG(□・★★★・連続M): 100 コマまで、RAW:32 コマまで 最高約3.0 コマ/秒、JPEG(□・★★★・連続L): 200 コマまで、RAW:52 コマまで *連続撮影可能コマ数はISO 1000とき
多重露出	合成方法:加算/平均/比較明 撮影回数:2~2000回
インターバル	[静止画] 撮影間隔:2秒~24時間、撮影回数:2~2000回、 開始トリガー:即時/時刻指定 [動画] 記録サイズ:[MC/「MM9/「M9],撮影間隔:2秒~1 時間、撮影所要時間:14秒~99時間、開始トリ ガー:即時/時刻指定

外付けフラッシュ

発光方式	自動発光、自動発光+赤目軽減、強制発光、強制 発光+赤目軽減、スローシンクロ、スローシンク ロ+赤目軽減、P-TTL、後幕シンクロ、光量比制 御、ハイスピードシンクロ、ワイヤレスシンクロ 可能(対応外付けフラッシュにおいて)
シンクロ同調速度	1/180秒
フラッシュ光量補 正	-2.0~+1.0 EV

撮影機能

カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅(MIYABI)、 ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサル フィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィル ター	色抽出、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、 シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカ ラー、ハードモノクローム
HDR撮影	オート/Type1/Type2/Type3、振り幅設定、自 動位置調整
Real Resolution	オン/オフ
レンズ補正	ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収 差補正、回折補正
D-Range設定	ハイライト補正、シャドー補正
ノイズリダクショ ン	長秒時NR、高感度NR

GPS	GPSログ(記録間隔、記録時間、カードスロット 設定)、アストロトレーサー、キャリブレーショ ン、詳細設定(自動時刻修正、GPSランプ)
自動水平補正	SRオン時:最大1度まで補正可能、SRオフ時:最 大2度まで補正可能
構図微調整	上下左右シフト調整範囲±1.5mm(回転時は ±1mm)、回転調整範囲±1度
電子水準器	表示パネルおよびファインダー内表示(左右の傾 き)、画像モニター表示(左右・前後の傾き)
動画	
ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264(MOV) *インターバル動画時はMotion JPEG(AVI)
記録サイズ	Full (1920×1080、60i/50i/30p/25p/24p), HD (1280×720、60p/50p/30p/25p/24p)
音声	内蔵モノラルマイク、外部マイク使用可能(ステ レオ録音)録音レベル調整可能
記録時間	最大4GBまたは最長約25分、内部温度上昇時は自 動終了
カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅(MIYABI)、 ポップチューン、ほのか、銀残し、リバーサル フィルム、モノトーン、クロスプロセス
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1~3、お気に入り1~3
デジタルフィル ター	色抽出、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、 シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカ ラー、ハードモノクローム
HDR撮影 *インターバル動 画時のみ	オート/Type1/Type2/Type3、振り幅設定可
再生機能	
再生方法	1画像、マルチ画面表示(6、12、20、35、80画 面)、拡大(最大16倍まで、等倍表示可、クイック 拡大可)、回転表示、ヒストグラム表示(Yヒスト グラム、RGBヒストグラム)、白とび警告表示、縦 位置自動回転、詳細情報表示、著作権情報表示 (撮影者名、著作権者名)、フォルダー表示、撮影 日別表示、スライドショウ、GPS情報(緯度、経 度、高度、協定世界時)、方位

デジタルフィル ター	ベースメイク、色抽出、トイカメラ、レトロ、ハ イコントラスト、シェーディング、ネガボジ反転、 ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、ドラ マチックアート、デッサン、水彩画、パステル、 ポスタリゼーション、ミニチュア、ソフト、クロ ス、フィッシュアイ、スリム
RAW展開	RAW画像選択:1画像選択/複数画像選択/フォ ルダー選択 RAW展開パラメーター:記録形式(JPEG、 TIFF)、アスペクト比、JPEG記録サイズ、JPEG画 質、色空間、ディストーション補正、周辺光量補 正、倍率色収差補正、回折補正、フリンジ補正、 ホワイトバランス、カスタムイメージ、デジタル フィルター、HDR撮影、Real Resolution、増減感、 高感度NR、シャドー補正
編集機能	色モアレ補正、リサイズ、トリミング(アスペク ト比変更可、慎き修正可)、インデックス、動画編 集(分割および不要部分削除)、動画フレーム画像 JPEG保存、バッファ RAW保存、画像コピー、 Eye-Fi画像転送

カスタマイズ機能

ユーザーモード	最大3件まで登録可
カスタムファンク ション	26項目
モードメモリ	12項目
電子ダイヤル	露出モード別電子ダイヤルカスタマイズ各種
カスタムボタン	☆☆ボタン(ワンタッチRAW+、露出ブラケット、 光学ブレビュー、デジタルブレビュー、Shake Reduction、表示パネルの照明)Øボタン(AF作動1、AF作動2、AFキャンセル)
オートフォーカス カスタマイズ	AF.Sの動作:フォーカス優先/レリーズ優先から 選択可 AF.C1コマ目の動作:レリーズ優先/オート/ フォーカス優先から選択可 AF.C連続撮影中の動作:フォーカス優先/オート /コマ速優先から選択可 AFホールド:オフ/弱/中/強から選択可 インターバル撮影中のAF:フォーカスロックする /フォーカスロックしないから選択可
文字サイズ	標準、大きい
ワールドタイム	世界75都市に対応(28タイムゾーン)
AF微調整	±10ステップ、一律調整、個別調整(最大20本まで 登録可)
著作権情報	「撮影者名」「著作権者名」を画像ファイルに記録、 同梱ソフトウェアで改ざんの有無を確認可能

GPS/電子コンパス

対応衛星	GPS、QZSS、SBAS(WAAS/EGNOS/GAGAN /MSAS)
受信周波数	L1 1575.42MHz
記録情報	緯度、経度、高度、日時(協定世界時)、方位
測地系	世界測地系(WGS84)
GPSログ	KML形式、記録間隔:5/10/15/30秒/1分、 記録時間:1~24時間 *5秒選択時は9時間まで、10秒選択時は18時間ま で
電子コンパス	3軸地磁気センサーおよび3軸加速度センサーによ る方位算出、真北基準

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P			
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC132J(別売)			
電池寿命	撮影可能枚数…約720枚 再生時間…約370分 ・満充電のリチウムイオンパッテリー使用、23°C、 撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目 安ですが、使用条件により変わります。			

外部インターフェイス

端子	USB 3.0 (micro B)、外部電源端子、ケーブルス イッチ端子、Xシンクロソケット、HDMI出力端子 (タイプD)、ステレオマイク入力端子、ヘッドホン 出力端子
USB接続	MSC/PTP

外形寸法・質量

外形寸法	約131.5mm(幅)× 102.5mm(高)× 77.5mm (厚)(突起部を除く)
質量	約785g(バッテリー、SDカード1枚付き) 約700g(本体のみ)

付属品

同梱物	ストラップ O-ST132、ME ファインダーキャップ、 充電式リチウムイオンバッテリー D-L190P、充電器 D-BC90P、ACコード、ソフトウェア(CD-ROM) S-SW160 <これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイカップ Fs、ホットシューカバー Fk、シンクロソケット2P キャップ、ボディマウントカバー、バッテリーグ リップ接点カバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

別売アクセサリー対応

	FLUCARD FOR PENTAX 16GB (O-FC1): リモー		
FLUJIII	ト撮影、画像閲覧		

99

撮影可能枚数と再生時間

(バッテリーフル充電時)

使用電源	使用温度	一般撮影	再生時間
D-LI90P	23°C	約720枚	約370分

 撮影枚数(一般撮影)はCIPA規格に準じた測定条件、その他について は当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

(8GBのメモリーカード使用時)

記録サイブ	JPEG画質			DAW.	
記録ワイス	***	**	*	10-10	
L 24M	446枚	1010枚	1980枚	151枚	
M 14M	755枚	1693枚	3274枚	-	
S 6M	1670枚	3665枚	6822枚	-	
XS 2M	4093枚	8469枚	14448枚	-	

 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリー カード等により異なります。

都市名一覧

現在地/目的地として以下の都市が設定できます

地域	都市名
北米	ホノルル/アンカレジ/バンクーバー/サンフ ランシスコ/ロサンゼルス/カルガリー/デン バー/シカゴ/マイアミ/トロント/ニュー ヨーク/ハリファックス
中南米	メキシコシティ/リマ/サンティアゴ/カラカ ス/ブエノスアイレス/サンパウロ/リオデ ジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン/マドリード/ロンドン/パリ/アム ステルダム/ミラノ/ローマ/コペンハーゲン /ベルリン/プラハ/ストックホルム/ブダペ スト/ワルシャワ/アテネ/ヘルシンキ/モス クワ
アフリカ・ 西アジア	ダカール/アルジェ/ヨハネスブルグ/イスタ ンブール/カイロ/エルサレム/ナイロビ/ ジッダ/テヘラン/ドバイ/カラチ/カブール /マーレ/デリー/コロンボ/カトマンズ/ ダッカ
東アジア	ヤンゴン/バンコク/クアラルンプール/ビエ ンチャン/シンガポール/プノンペン/ホーチ ミン/ジャカルタ/香港/北京/上海/マニラ /台北/ソウル/東京/グアム
オセアニア	パース/アデレード/シドニー/ヌーメア/ ウェリントン/オークランド/パゴパゴ

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンで RAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。付 属のCD-ROM (S-SW160)からインストールができます。 本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム 環境が必要です。

Windows

os	Windows 8.1 (32bit/64bit) / Windows 8 (32bit /64bit) / Windows 7 (32bit/64bit) / Windows Vista (32bit/64bit)		
CPU	Intel Core 2 Duo以上		
メモリ	2GB以上		
HDD	インストール時および起動時の空き容量: 約100MB以上 画像ファイルの保存容量:1ファイルあたり約 10MB(JPEG)または約30MB(RAW)程度		
モニター	1280×1024 ドット、24bitカラー以上		

Macintosh

os	OS X 10.10/10.9/10.8/10.7
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量: 約100MB以上 画像ファイルの保存容量:1ファイルあたり約 10MB(JPEG)または約30MB(RAW)程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

◎メモ

 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、 QuickTime が必要です。(Windows 8.1/Windows 8は、標準搭載の再生ソフトで再生可能) QuickTimeは下記アドレスからダウンロードできます。 http://www.apple.com/ip/quicktime/download/



記号

Ů×=⊐−	20
, 2 メニュー	23
▶メニュー	23
∢ メニュー	24
С ×=	25
,≌ モード	40
■モード	33

数字

1	画像表示	14, 3	86
1	コマ撮影	4	8

6 付録

Α	
ACアダプター	30
AF.A	44
AF.C	44
AF.C 1コマ目の動作	45
AF.C連続撮影中の動作…	45
AF.S	44
AF.Sの動作	45
AFエリア	46
AFカプラー	. 7
AF微調整	47
AFフレーム 34,	35
AFホールド	45
AF補助光	44
AF補助光ランプ	. 7
AFボタン	79
AFモード 44,	46
AFロック時のAE-L	25
AV機器	70
Av モード	38
R	
	~ ~
B 時 の 飯 家 方 法	25
Bt-L.	38

С

D

DC入力端子 30
Digital Camera Utility 5 101
DNG 37
D-Range設定59

Е

Exifデータ	85
Eye-Fiカード 30,	86
Eve-Fi画像転送	86

F

FLUカード	30, 86
G	

GPS	62
GPSランプ7,	63
GPSログ	64

н

HDMI出力	70
HDR撮影	59

ISO感度...... 41 ISO感度ステップ 41

J JPEG 37 L Language/言語 31 LCD設定......24

М

Macintosh	101 プ
WE 27422 4792	, . 49
Motion JPEG	. 53
Movie SR	. 23
MSC	. 92
Mモード	. 38
Р	

PEF	37
PTP	92
P ₹−ド	38

O

QuickTime 101

R

RAW	37
RAW/Fxボタン	78
RAW追加保存	36
RAW展開	76
Real Resolution	60
RGBヒストグラム	15

S

SDメモリーカード	30
Shake Reduction	21
$Sv \! \equiv \! - \! \Vdash \ldots$	38
т	
I	
TAv モード	38
TTL位相差検出式	44
Tv ₹− ド	38

U

USB接続 71, 101	
USB端子71	

W	
WBの光源調整範囲	55
Wi-Fi通信	86
Windows	101
Х	
Xシンクロソケット	91
X モード	38
あ	
 赤目軽減	43
明るさ補正	59
鮮やか(カスタムイメーシ	ブ)

USERモード..... 80

アストロトレーサー....... 65 アスペクト比...... 73,77 アップデート......25 アフターサービス...... 111

い

色温度	56
色温度ステップ	55
色空間	84
色抽出(デジタルフィル	
ター) 58,	73
色モアレ補正	73
インターバル合成	53
インターバル撮影	52
インターバル動画	53
インデックス	75
-	
え	
エラーメッセージ	94

お オート (測距点)...... 45

オートパワーオフ	31
オートフォーカス	44
オートモード(AFモード)
	44
オートリサイズ	86
音声	40

か

カードアクセスランプ	. 7
カードスロット設定	37
回折補正	60
回転	69
回転情報の記録	69
回転方向設定	78
ガイド表示 24,	34
顔検出(コントラストAF))
	46
拡大表示 34, 35,	36
加工	72
画質	37
カスタマイズ	78
カスタムイメージ	56
カスタムメニュー	25
画像コピー	72
画像仕上	56
画像の自動回転	69
画像モニター	10
合焦マーク	34
画面表示	24
感度	41
感度AUTO設定	41
感度アップポイント	41
感度優先自動露出	38

き

輝度ヒストグラム	15
キャッチインフォーカス	
	26
キャリブレーション	63
強制発光	43
記録形式	37

記録サイズ	37
記録設定	37
銀残し(カスタムイメージ	ジ)
	56

۲ クイック拡大...... 36 クイックビュー....... 21.34 クリーニング...... 93 グリッド表示......21 クロス(デジタルフィル クロスプロセス(カスタム クロスプロセス登録...... 57

け

ケーブルスイッチ端子	. 7
ケルビン	56
言語設定	31
現在地31,	81
現像	76

Ζ

光学プレビュー	47
高感度NR	42
構図微調整	61
光量補正	43
コンティニュアスモード	
(AFモード)	44
コントラスト	57
コントラストAF	46
コントラスト検出式	44
コントロールパネル 12,	18

さ

サイズ変更	72
再生情報表示選択	14
再生スロット	36
再生メニュー	23

再生モード	36
再生モードパレット	66
撮影	33
撮影可能枚数	100
撮影者名	85
撮影情報表示選択	13
撮影待機状態	10
撮影日別表示	68
撮影メニュー	20
撮影モード	38
三脚ねじ穴	7

L

シェーティング(デシタル	,
フィルター) 58,	73
時刻切替	81
自動回転	13
自動時刻修正	62
自動水平補正	21
自動発光	43
視度調整ダイヤル	16
絞り値	38
絞り優先自動露出	38
絞りリング付きレンズ	89
絞りリングの使用	89
シャープネス	57
シャッター&絞り優先自動]
露出	20
	აი
シャッター速度	зо 38
シャッター速度 シャッター優先自動露出	38 38
シャッター速度 シャッター優先自動露出	38 38
シャッター速度 シャッター優先自動露出 シャドー補正	38 38 38 59
シャッター速度 シャッター優先自動露出 	38 38 38 59 18
シャッター速度 シャッター優先自動露出 シャドー補正 十字キー	38 38 38 59 18 28
シャッター速度 シャッター優先自動露出 シャドー補正	38 38 59 18 28 29
シャッター速度 シャッター優先自動露出 ジャドー補正	 38 38 59 18 28 29 60
シャッター速度 シャッター優先自動露出 シャドー補正	 38 38 59 18 28 29 60 96
シャッター速度 シャッター優先自動露出 シャドー補正 +字キー	 38 38 59 18 29 60 96 36
シャッター速度 シャッター優先自動露出 シャドー補正	38 38 59 18 29 60 96 36 14
シャッター速度 シャッター優先自動露出 シャドー補正	38 38 59 18 29 60 96 36 14 24

初期化 初期設定 白とび警告 21, シングルモード(AFモー)	33 31 23 ×)
人物(カスタムイメージ)	44 56
す スーパーインポーズ 水彩画(デジタルフィル	16

スーパーインポーズ	16
水杉回(テンタルフィル ター)	73
ステータススクリーン	10
ストラップ	27
スピーカー	. 7
スポット(コントラストA	F)
	46
スポット(測距点)	45
スポット測光	42
スライドショウ	69
スリム(デジタルフィル	
ター)	73

せ

静止画/動画切替レバー	
	33
セルフタイマー撮影	49
セルフタイマーランプ	. 7
セレクト(コントラストA	(F)
	. 46
セレクト (測距点)	45
セレクトエリア拡大(測距	Ξ
点)	45
全画像消去	23
全画像プロテクト	82
センサークリーニング	93
選択消去	67

6 付録

そ ゾーンセレクト(測距点) 増減感	45 77
像面位置マーク	. 7
測距点	45
測距点と露出の関連付	25
測光作動時間	25
測光方式	42
外付けフラッシュ	91
ソフト(デジタルフィル	
ター)	73
ソリッドモノカラー(デシ タルフィルター) 58,) 73

t--

ダイナミックレンジ 5	9
ダイヤル	8
ダイヤル指標 3	4
ダイレクトキー1	8
多重露出5	2
ダストアラート	3
ダストリムーバル	2
縦位置1	3
多点オート(コントラスト	
AF)	6

ち C

中央重点測光	42
長秒時NR	39
著作権者名	85
著作権情報	85
沈胴式レンズ	35
つ 追尾(コントラストAF) 通信カード	46 86

τ	
ディストーション補正 60	

デジタルフィルター 58,73
デジタルプレビュー 47
デッサン(デジタルフィル
ター)73
電源 31
電子音 24
電子コンパス13
電子水準器 13, 17
電子ダイヤル78
天体撮影65

٤

トイカメラ(デジタルフィ
ルター) 58,73
動画編集75
動画メニュー 23
動画モード 40
動作環境101
等倍表示
都市名 31,100
ドライブモード 48
ドラマチックアート(デジ
タルフィルター)
トリミング 72

な

ナチュフル(カスタムイ	
メージ)	56
夏時間 32,	81
_	

に日間

時設定	32	2

ね

ネガボジ反転(デジタ フィルター)	ル 58,	73
の ノイブロ <i>はわ</i> ミットノ	20	40

は バージョン情報...... 25

ハードモノクローム(デシ	ÿ
タルフィルター) 58,	73
ハイコントラスト(デジタ	7
ルフィルター) 58,	73
配色	12
ハイライト補正	59
倍率色収差補正	60
白熱灯下のAWB	55
パステル(デジタルフィル	,
パステル(デジタルフィル ター)	, 73
パステル(デジタルフィル ター) パソコン	, 73 71
パステル(デジタルフィル ター) パソコン バッテリー	, 73 71 28
パステル(デジタルフィル ター) パソコン バッテリー バッテリーグリップ接点	, 73 71 28 . 7
パステル(デジタルフィル ター) パッテリー バッテリーグリップ接点 バッテリー選択	, 73 71 28 . 7 29
パステル(デジタルフィル ター) パソコン バッテリー バッテリーグリップ接点 バッテリー選択 パッファ RAW保存	, 73 71 28 . 7 29 36
パステル(デジタルフィル ター) パッテリー	, 73 71 28 . 7 29 36 38

ぴ

ピクセルマッピング	92
ヒストグラム表示 15,	21
表示情報切り替え	36
表示スタイル	32
表示パネル	17
表示パネルの照明 17,	78

ふ

ファームウェア	25
ファイルNo	85
ファイル形式	37
ファイル名	84
ファインダー	16
ファインダー撮影	33
フィッシュアイ(デジタ)	V
フィルター)	73
フィルター 58,	73
風景(カスタムイメージ)	56
フォーカスアシスト	46
フォーカスモード	44
フォーカスモード切替レ	
バー 34,	44
フォーマット	33

フォルダー新規作成	. 84
フォルダー表示	. 68
フォルダー名	. 83
複数画像表示	. 67
付属ソフトウェア	101
ブラケット撮影	. 50
ブラケット撮影順	. 51
フラッシュ 43	, 91
フラッシュ撮影	43
フラッシュ同調速度	. 38
フラッシュ発光時のWB.	. 55
フラッシュモード	. 43
フリッカー低減	. 24
フリンジ補正	. 77
フレームレート	. 37
プレビュー	. 47
プレビューレバー	. 47
プログラム自動露出	. 38
プログラムライン	. 39
プロテクト	. 82
分割測光	. 42
分割表示 36	, 67

~

ベースメイク(デジタル	
フィルター)	73
ヘッドホン	40
編集	72

ſ₹

保護	82
ポスタリゼーション(デミ	ブ
タルフィルター)	73
補正	59
ボタン	8
ボタンカスタマイズ	78
ホットシュー7	, 43
ポップチューン(カスタム	4
イメージ)	56
ほのか(カスタムイメージ	ブ)
	56

付録

6

Ŧ

40
27
55
,
55
38

ን

ミニチュア(デジタルフィ	,
ルター)	73
雅(MIYABI)(カスタムィ	·
メージ)	56
ミラー	. 7
ミラーアップ撮影	51
ミレッド	56

む

無線LAN		86
-------	--	----

め

メニュー	19
メニュー選択の記憶	19
メモリーカード	30

ŧ

モードダイヤル	34
モードダイヤルロック解除	£
レバー	35
モードダイヤルロックボタ	7
ン	34
モードメモリ	82
モアレ低減	61
目的地	81
文字サイズ	32
文字入力	80
モノトーン(カスタムイ	
メージ)	56

b

リアルレゾリューション	シ
ステム	60
リサイクル	29
リサイズ	72
リセット 25	, 26
リバーサルフィルム(カス	ス
タムイメージ)	56
リモコン受光部	7
リモコン撮影	50
リモコン時のAF	50

n

ノトロ(デジタルフィル	
ӯ—) 58, 73	
ノバー 8	
ノンズ 27, 88	
ノンズ焦点距離 90	
ノンズ情報接点 7	
ノンズ取り外しボタン 27	
ノンズ補正 60	
圭 続再生 69	
圭続撮影4 9	
基動外の自動補正 25	
連番設定 85	

3

ローパスセレクター	61
ローパスフィルター	61
録音レベル 23,	40
録画可能時間	40
露出設定(動画)	40
露出設定ステップ	39
露出ブラケット	50
露出補正	39
露出モード 38,	81

わ

ワールドタイム	81
ワンタッチRAW+	79
ワンプッシュブラケット	
	51

6 付録

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ 注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷また は中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性がある ことを示すマークです。

本体について

▲ 警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部 があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手 を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で 直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災 の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、 すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダブターを取り外した上、 弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使 用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。
 やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、ロに入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる ことがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診 察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

\land 警告

- バッテリー充電器とACアダブターは、必ず専用品を指定の電源・電圧 でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・ 電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定 電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、 すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談 ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- ・電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火 災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、 触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC90Pで充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを 充電しようとすると、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

⚠ 警告

 バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こ すらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてく ださい。

⚠ 注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッ テリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。

6
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が 触れないようにご注意ください。
- ・バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発 や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす おそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 - 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 - 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 - 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

▲ 警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 1.製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
- 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
- バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むお それがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医 師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

・長時間使用しなかったときや、大切な撮影(結婚式、旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体(SDメモリーカード)などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることが あります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が 流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC90P専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますの でカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、
 車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は-10~40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これ は液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カ メラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り 出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センター または、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- 高性能を保つため、1~2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお 勧めします。

保管について

- ・防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多 湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しの よい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での 使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

 SDメモリーカードには、ライト プロテクトスイッチが付いてい ます。スイッチをLOCK側に切 り替えると、新たにデータを記 録できなくなり、カメラやパソ コンで削除やフォーマットがで きなくなります。



スイッチ

- ・カメラを使用した直後にSDメ モリーカードを取り出すと、 カードが熱くなっている場合が あります。
- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を 切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、 水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合が ありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社 では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 - 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 - 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 - SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテ リーを抜いたとき

- 長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなる ことがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアッ プを取るようにしてください。
- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、デー 夕を再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体 を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを 使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めし ます。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

Eye-Fiカードについて

- 本機は無線LAN機能を内蔵したSDメモリーカード「Eye-Fiカード」が 使用できます。
- 無線LANで画像を転送するには、アクセスポイントの利用とインターネット環境が必要です。詳しくは、Eye-Fiのホームページを参照してください。(http://www.eyefi.co.jp)
- Eye-Fiカードは、最新のファームウェアに更新して使用してください。
- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、 Eye-Fiカードを使用しないか、「動作モード」の設定を「オフ」にして ください。
- Eye-Fiカードの使用が認められているのは、カードをご購入された国の みです。使用する国の法律を遵守してください。
- このカメラには Eye-Fi カードの通信機能をオン/オフする機能があり ますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
- Eye-Fiカードの使用方法は、Eye-Fiカードの使用説明書を参照してください。
- Eye-Fiカードに関する不具合等は、カードの製造元へお問い合わせください。

GPSについて

- 地理的または気象条件によっては、GPSデータが取得できなかったり、 データの取得に時間がかかることがあります。また、屋内や地下、ビ ルや大きな木の陰など、電波を遮断したり反射する場所を避けてご使 用ください。
- GPS衛星の位置は常に変化するため、使用する時間帯によってはGPS データが取得できなかったり、データの取得に時間がかかることがあ ります。
- 携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものや、高圧電線など磁気を発生するものがある場合は、GPSデータを取得できない場合があります。

- 長期間使用しなかったり、最後にGPSデータを取得した場所から大きく距離が移動した場合は、GPSデータの取得に時間がかかることがあります。
- 病院内や飛行機の離着陸時など、電子機器の使用を禁止された場所では、必ずGPSをオフにしてください。
- お使いの国や地域によってはGPSの使用や位置情報を収集することなどが規制されている場合があります。海外旅行などで外国へ持ち込む場合は、GPS機能付きカメラの持ち込みやログの収集などについて制限がないか、事前に大使館や旅行代理店にご確認ください。
- 本機のGPS機能は、個人使用のデジタルカメラ用として開発・製造されたものです。航空機や車両、人などの航法装置、また測量用としての使用はできません。これらの用途で使用したことにより損害が発生した場合の保証はご容赦ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米 国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、OS X、QuickTimeは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Eye-Fi、Eye-Fi connected、およびEye-Fi□ゴはEye-Fi,Inc.の登録商標です。
- Google、Google Earthは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- この製品はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
- DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の 米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンシングの商標または登録商標です。
- SILKYPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処 理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが 可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターで は、一部機能が反映されません。

PRINT Image Matching, PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。







AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の 行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます)
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVC ビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から 入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセ ンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。 http://www.mpegla.comをご参照ください。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを 利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、 ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾され るソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス 条件に基づき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するも のではありません。

53

Tera Term Copyright (c) T.Teranishi. Copyright (c) TeraTerm Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

アフターサービスについて

- 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料 修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載さ れている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお 急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。 修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっ かり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご 利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメ モを添付していただけると原因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。 保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の 運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
- 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - 使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等)により 生じた故障
 - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
 - 火災・天災・地変等による故障
 - 保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等)や手入れの不備(本体内部に砂・ほこり、液体かぶり等)による故障
 - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
- 4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安 に保有しております。従って本期間中は原則として修理を お受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能の 場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせく ださい。
- 6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

6 付録

フォトスクール・写真クラブのご案内

http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方 に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真 年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特 典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、

ホームページをご覧いただくか、ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

TEL 03-6327-3700 FAX 03-6327-3701

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7 営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日、弊社休業日を除く)

ショールーム・ギャラリーのご案内 http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/
 リコーイメージングスクエア新宿(修理受付可) TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076
 〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB(中地下1階)
 営業時間 10:30~18:30(毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く)
 リコーイメージングスクエア銀座 TEL 03-3289-1521
 東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター9階
 営業時間 11:00~19:00(毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く)
 リコーイメージングスクエア大阪 TEL 06-6271-7996(代)

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階 営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日、弊社休業日を除く)

ユーザー登録のお願い

https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。 付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

ホームページアドレス

本製品に関するお問い合わせ

お客様相談センター

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008(代) 営業時間 9:00~17:30(平日) 10:00~17:00(十・日・祝日)(年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付

http://www.ricoh-imaging.co.ip/iapan/support/repair.html

修理受付センター / ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014(代) 営業時間 9:00~17:00(十・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ ビックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届け までを一括して提供するサービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。 なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】

 $\pm 174-0041$ 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内 営業時間 9:00~17:00(十・日・祝日、弊社休業日を除く)

東京サービスセンター(窓口)

TEL 03-3960-5140(代) FAX 03-3960-5147

TEL 06-6271-7996(代) FAX 06-6271-3612

TEL 03-3966-6121 FAX 03-3960-5158

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオス Ⅱ ビル3階 営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター(窓口)(宅配)(郵送)

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9パールビル2階 営業時間 9:00~17:00(+・日・祝日、弊社休業日を除く)

リコーイメージング株式会社 〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆什様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 54681

R02DTD15 Printed in Philippines

マル ナビダイヤル 0570-001313

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤル 0570-001301 (市内通話料金でご利用いただけます。)



http://www.ricoh-imaging.co.ip/iapan/support/